

亀山市男女共同参画に関する市民意識調  
査結果報告書

平成28年8月

亀山

# 目次

## I 調査の概要 . . . . . 1

1	調査の目的 . . . . .	1
2	調査対象 . . . . .	1
3	調査期間 . . . . .	1
4	調査方法 . . . . .	1
5	回収状況 . . . . .	1
6	調査結果の表示方法 . . . . .	1

## II 調査結果 . . . . . 2

(1)	回答者の属性 . . . . .	2
(2)	家庭生活について . . . . .	6
(3)	男女共同参画社会について . . . . .	8
(4)	男女平等について . . . . .	9
(5)	子育てについて . . . . .	13
(6)	健康・介護について . . . . .	16
(7)	就労について . . . . .	19
(8)	マタニティハラスメント・パタニティハラスメント . . . . .	28
(9)	ワーク・ライフ・バランスについて . . . . .	29
(10)	ドメスティック・バイオレンスなどについて . . . . .	32
(11)	社会参加について . . . . .	45
(12)	男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて . . . . .	48

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「第2次亀山市男女共同参画基本計画」策定にあたり、現在の男女共同参画の進捗状況を確認するとともに、市民の男女共同参画に関する意識や生活について意見を伺い、計画策定の基礎資料とすることを目的としている。

## 2 調査対象

市内在住の満18歳以上の男女から無作為抽出

## 3 調査期間

平成28年7月11日から平成28年7月25日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
1,200通	439通	36.6%

## 6 調査結果の表示方法

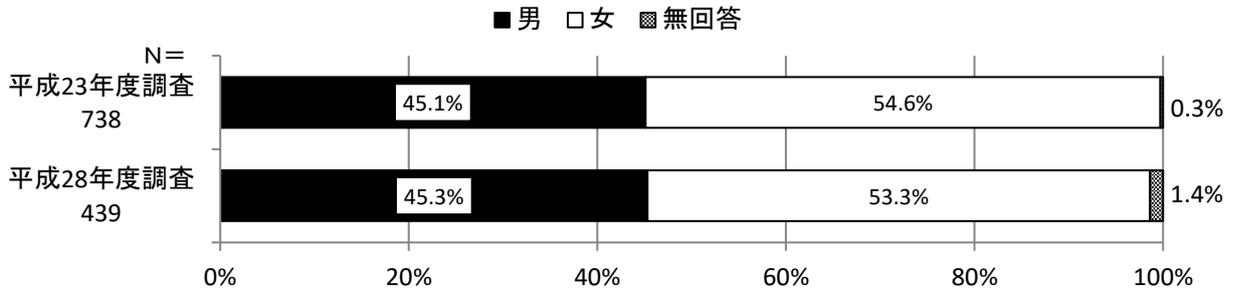
- ・回答は各質問の回答者数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。

## Ⅱ 調査結果

### (1) 回答者属性

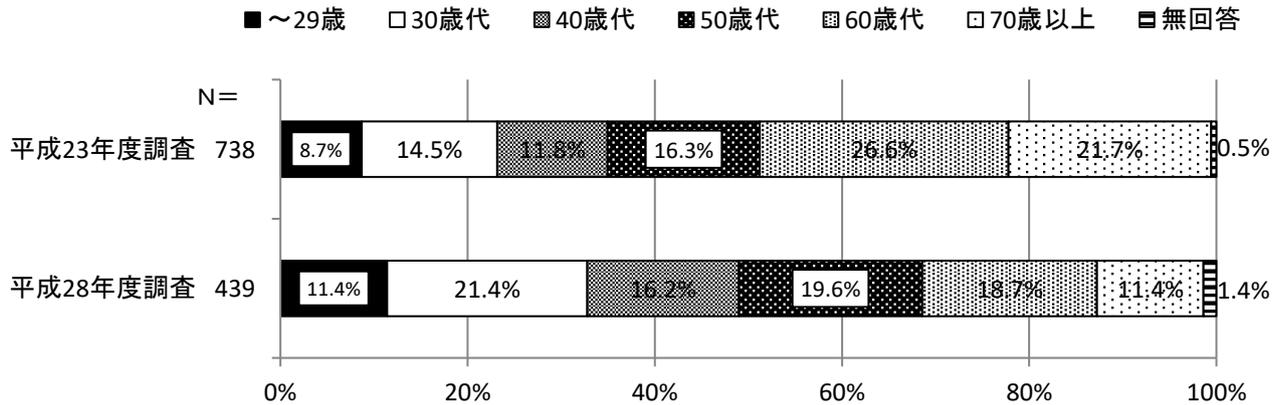
問1. あなたの性別をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

「男」の割合が27.1%、「女」の割合が53.3%となっている。



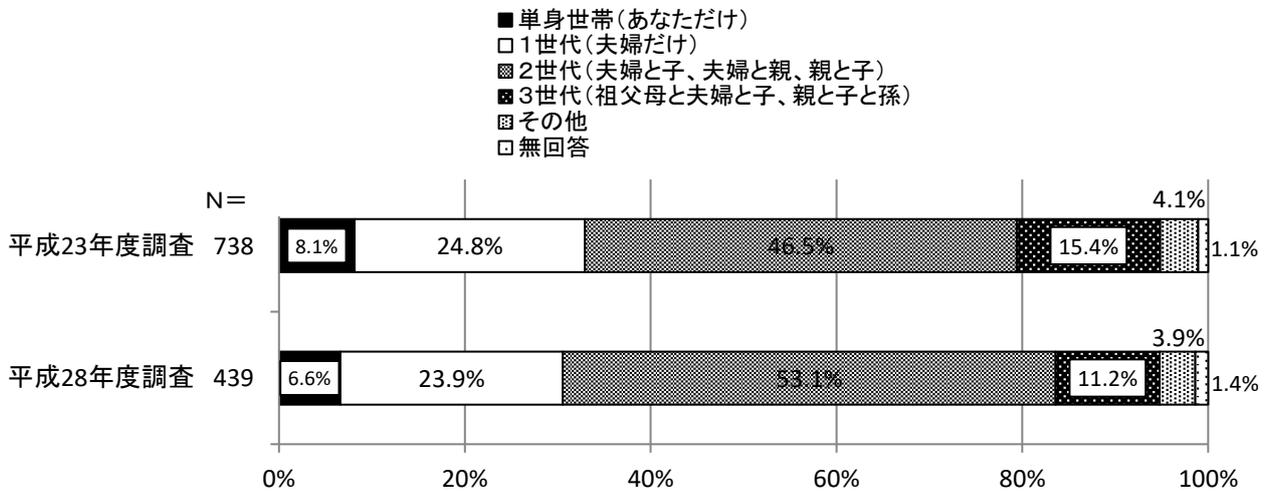
問2. あなたの年齢をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

「30歳代」の割合が21.4%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が19.6%、「60歳代」の割合が18.7%となっている。



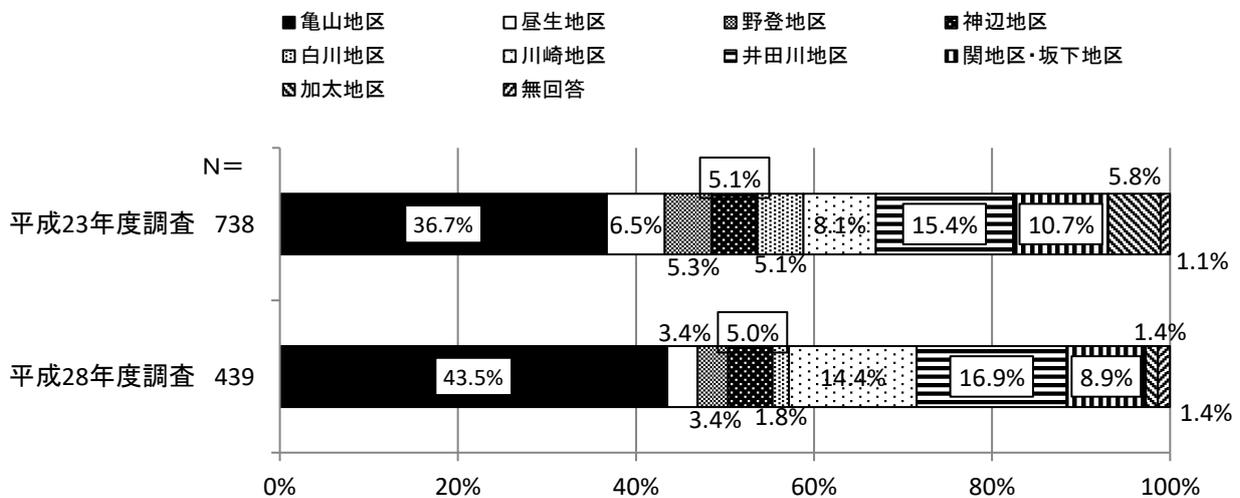
**問3. あなたが現在生活しているご家庭の家族構成をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。**

「2世代世帯(夫婦と子、夫婦と親、親と子など)」の割合が53.1%と最も高く、次いで「1世代世帯(夫婦だけ)」の割合が23.9%、「3世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など)」の割合が11.2%となっている。前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。



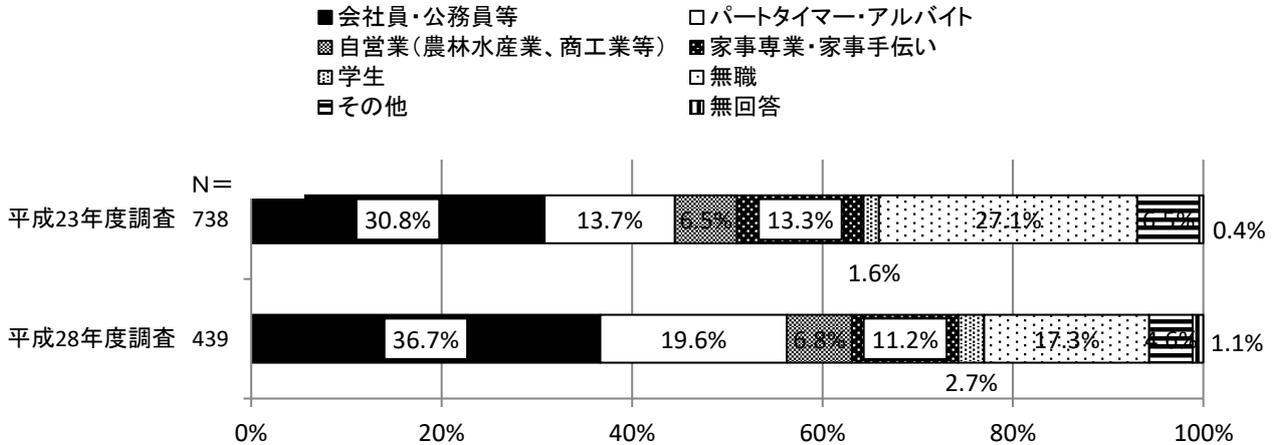
**問4. あなたのお住まいの地区をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。**

「亀山地区」の割合が45.3%と最も高く、次いで「井田川地区」の割合が16.9%、「川崎地区」の割合が14.4%となっている。



**問5. あなたの職業をお答えください。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

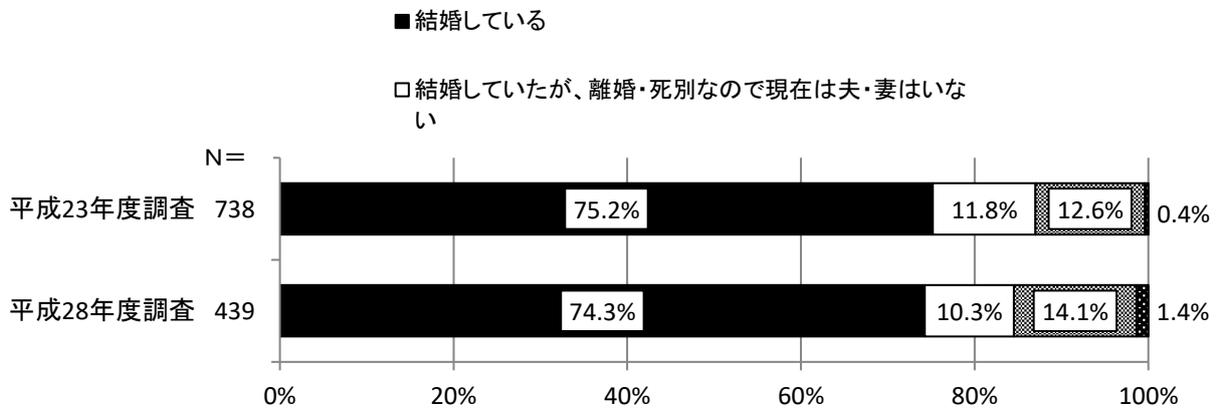
「会社員」の割合が36.7%と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト」の割合が19.6%、「無職」の割合が17.3%となっている。  
 前回調査結果と比較すると、「無職」の割合が低くなっている。



※ 23年度調査の自営業(農林水産業)と自営業(商工・サービス業)は？

**問6. あなたは結婚していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

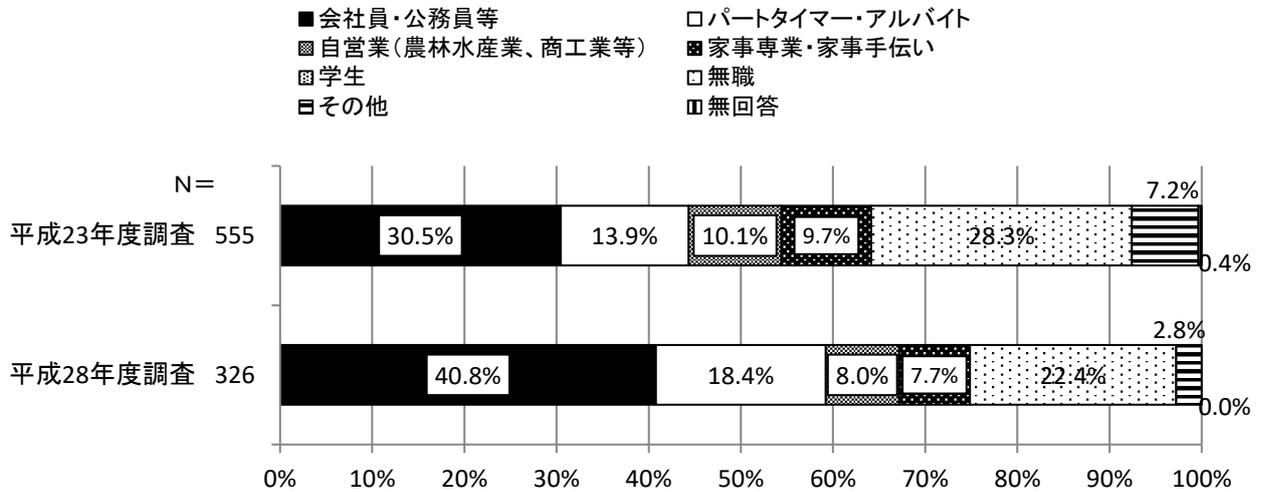
「結婚している」の割合が74.3%と最も高く、次いで「結婚していない」の割合が14.1%、「結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない」の割合が10.3%となっている。  
 前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。



**問6-1. 問6で「結婚している」と答えた方にお聞きます。あなたの配偶者の職業は何ですか？次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

「会社員」の割合が40.8%と最も高く、次いで「無職」の割合が22.4%、「パートタイマー・アルバイト」の割合が13.9%となっている。

前回調査結果と比較すると、「会社員」の割合が低くなっている。



※ 23年度調査の自由業はその他に含む。

## (2) 家庭生活

問7. 問6で「1. 結婚している」と答えた方にお聞きします。あなたの家庭では、①～⑬の家庭生活について、夫婦の間でどのように行っていますか。①～⑬のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

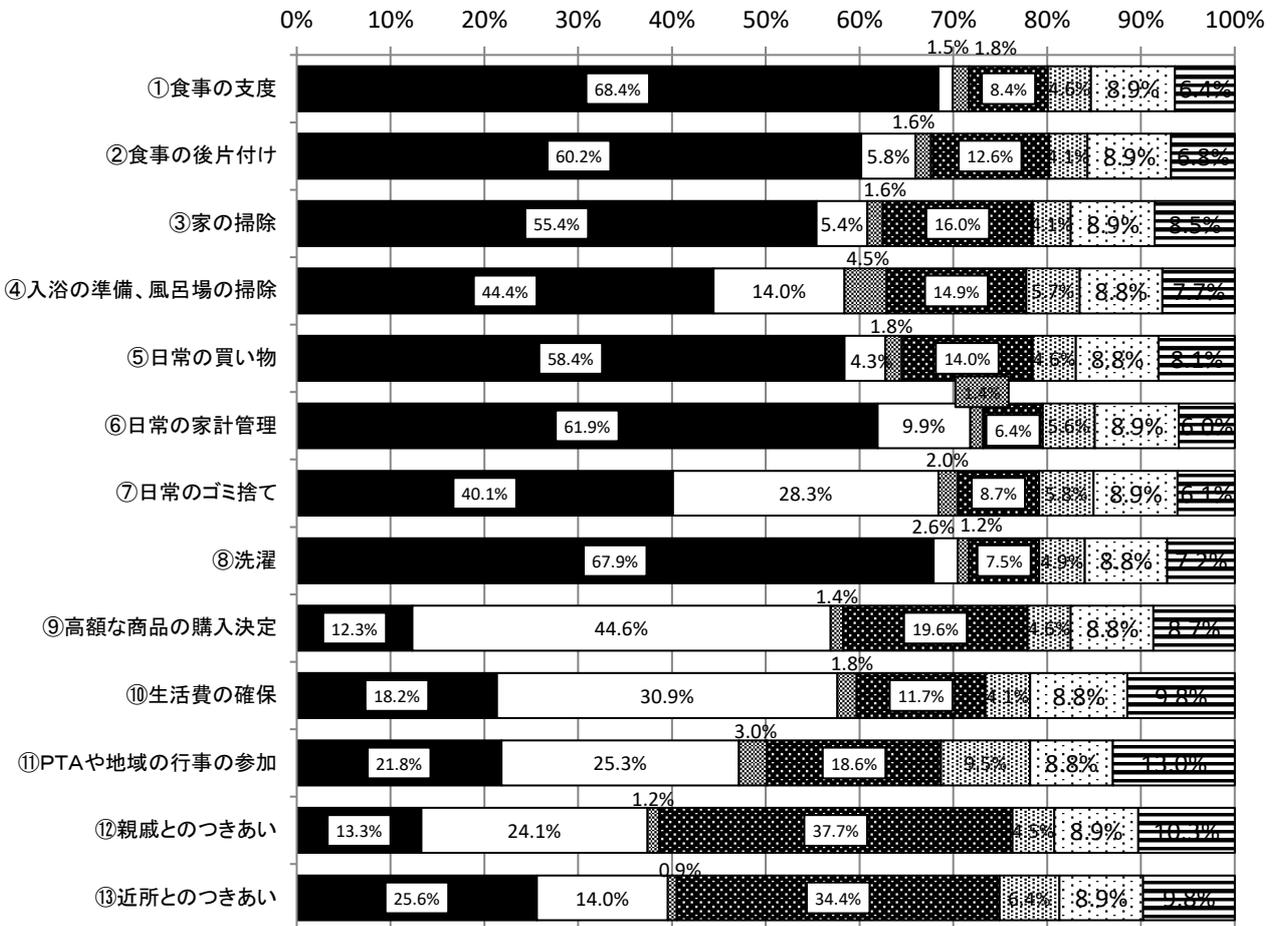
「①食事の支度」「②食事の後片付け」「③家の掃除」「④入浴の準備、風呂場の掃除」「⑤日常の買い物」「⑥日常の家計管理」「⑦日常のゴミ捨て」「⑧洗濯」では「妻・パートナー」の割合が最も高く、特に「①食事の支度」「⑧洗濯」で約7割を占めている。

「⑨高額な商品の購入決定」「⑩生活費の確保」では、「夫・パートナー」の割合が最も高くなっている。一方、「⑫親戚とのつきあい」「⑬近所とのつきあい」では、「平等に分担している」の割合が最も高くなっ

【平成23年度調査】

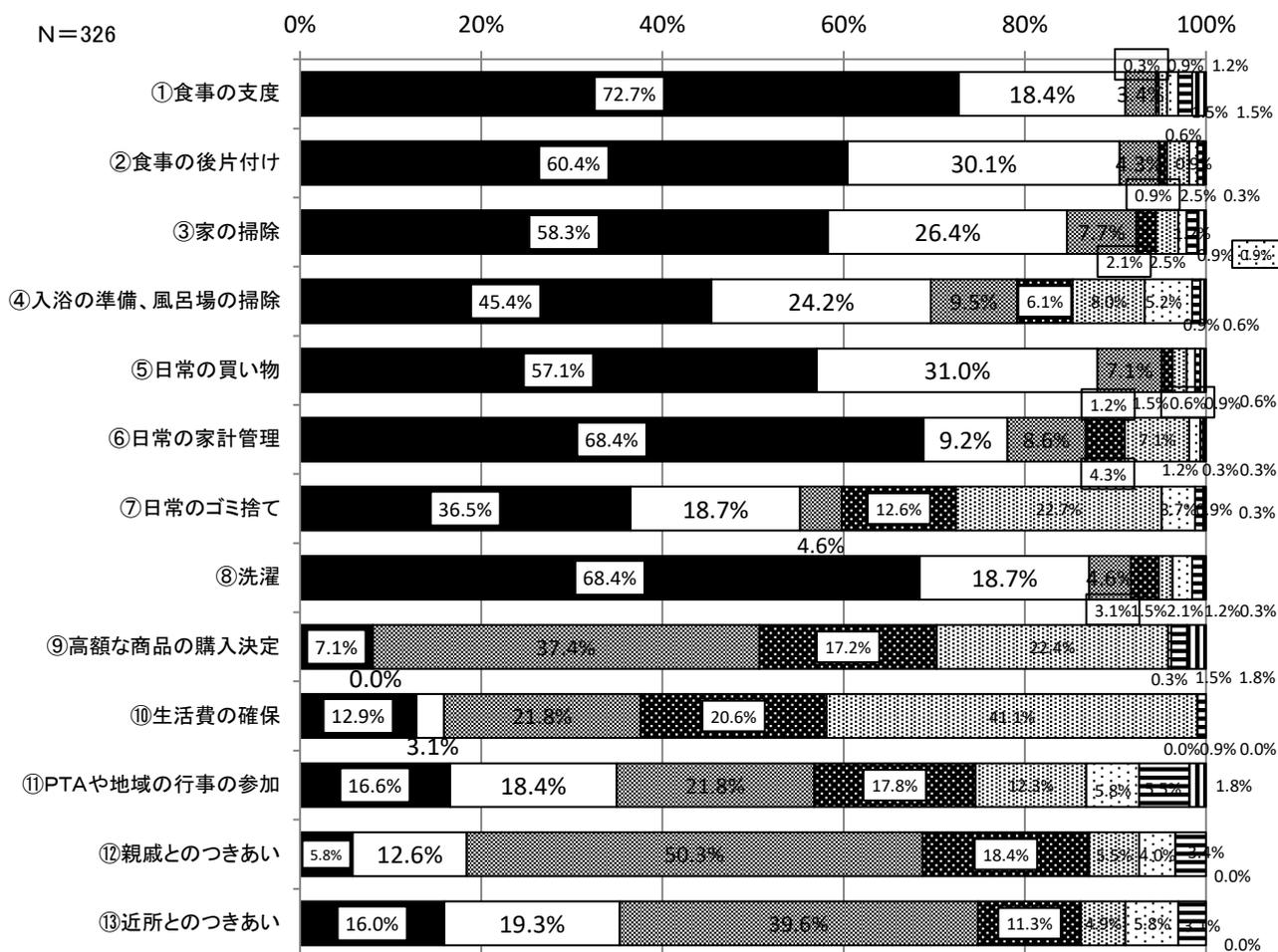
N=738

■妻・パートナー  
□夫・パートナー  
▨子ども  
▩家族全員  
▧その他・わからない  
□自分のみ(単身者)  
□無回答



【平成28年度調査】

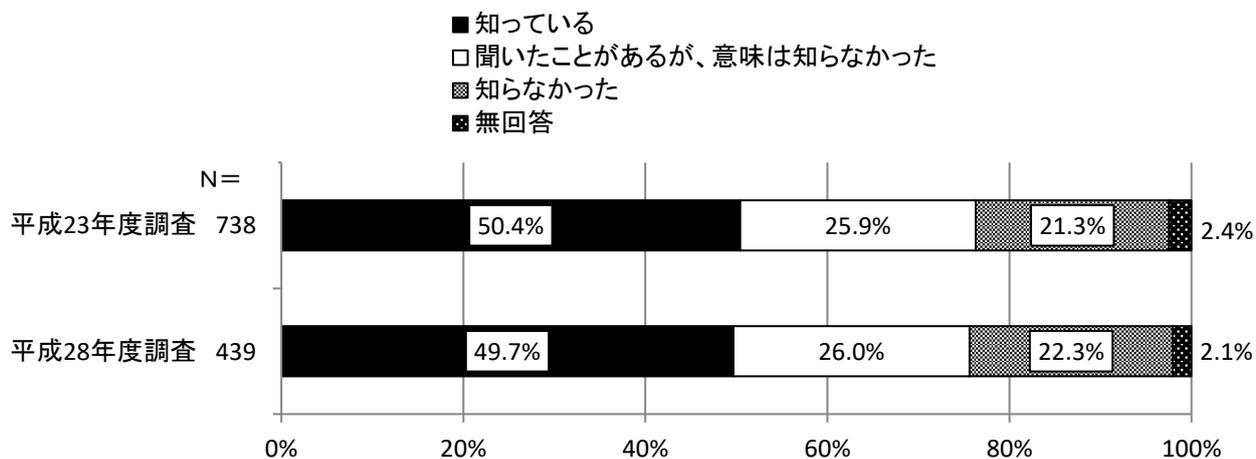
- ほとんど妻がしている
- 妻が中心だが夫も手伝う
- ▨ 平等に分担している
- 夫が中心だが妻も手伝う



### (3) 男女共同参画社会について

問8. あなたは「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「知っている」の割合が49.7%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」の割合が26.0%、「知らなかった」の割合が22.3%となっている。  
前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。



#### (4) 男女平等について

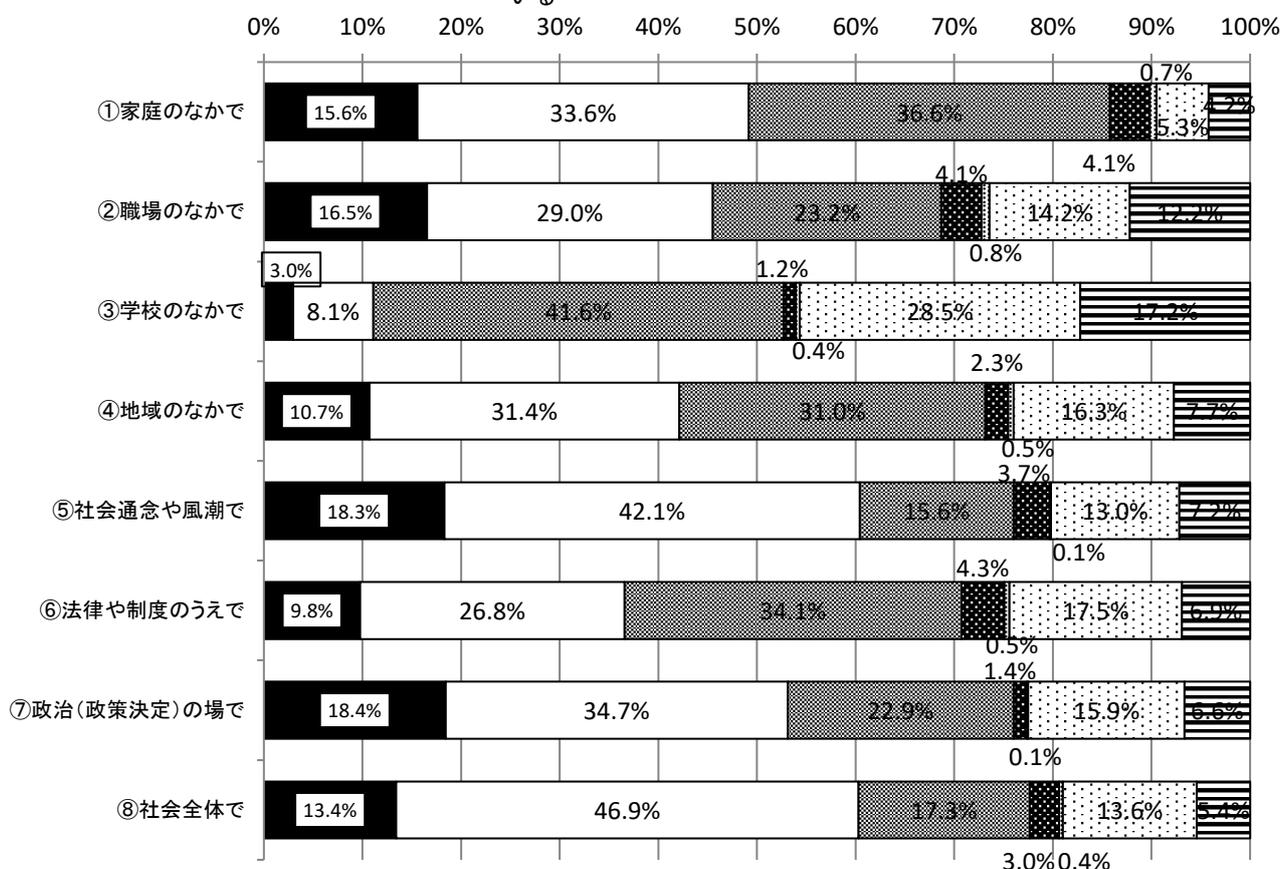
問9. あなたは、次の分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。  
①～⑧のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

「③学校のなかで」では、昨年と同様に、「平等である」の割合が最も高く、41.6%となっている。それに対し、他の分野ではすべて「男性の方が優先されている」と「どちらかといえば男性の方が優先されている」をあわせた“男性の方が優先されている”と思う人の割合が高くなっており、特に「⑤社会通念や風潮で」「⑧社会全体で」では6割を超えている。

【平成23年度調査】

- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている

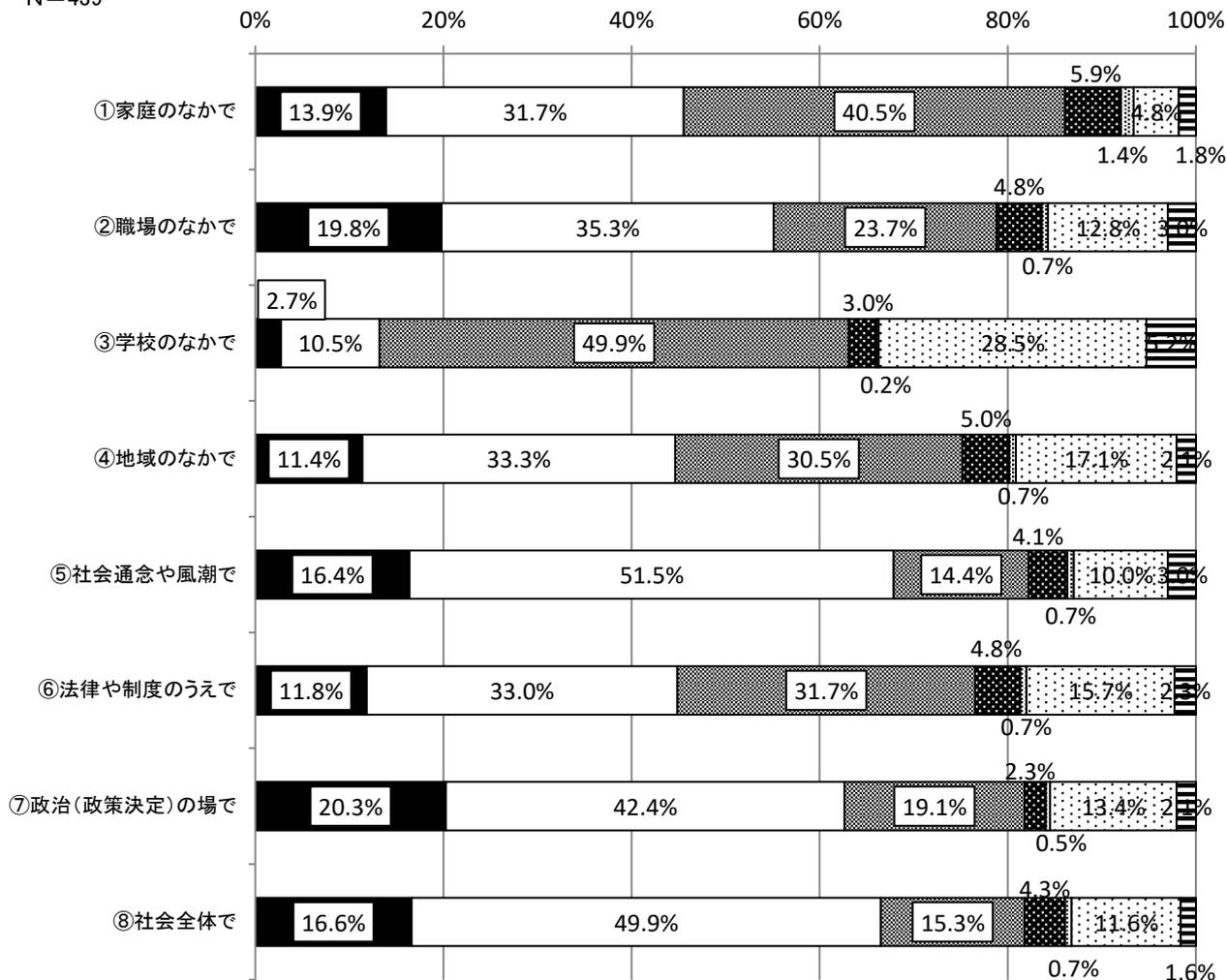
N=738



【平成28年度調査】

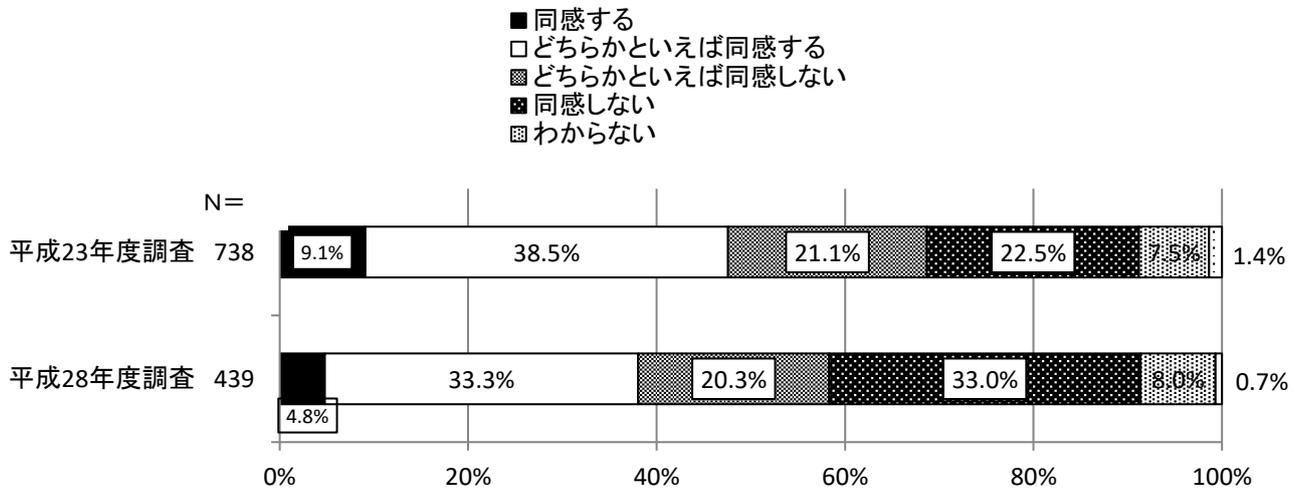
- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答

N=439



**問10. 「男は仕事、女は家庭」という考えがありますが、あなたはどのように思いますか。  
次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

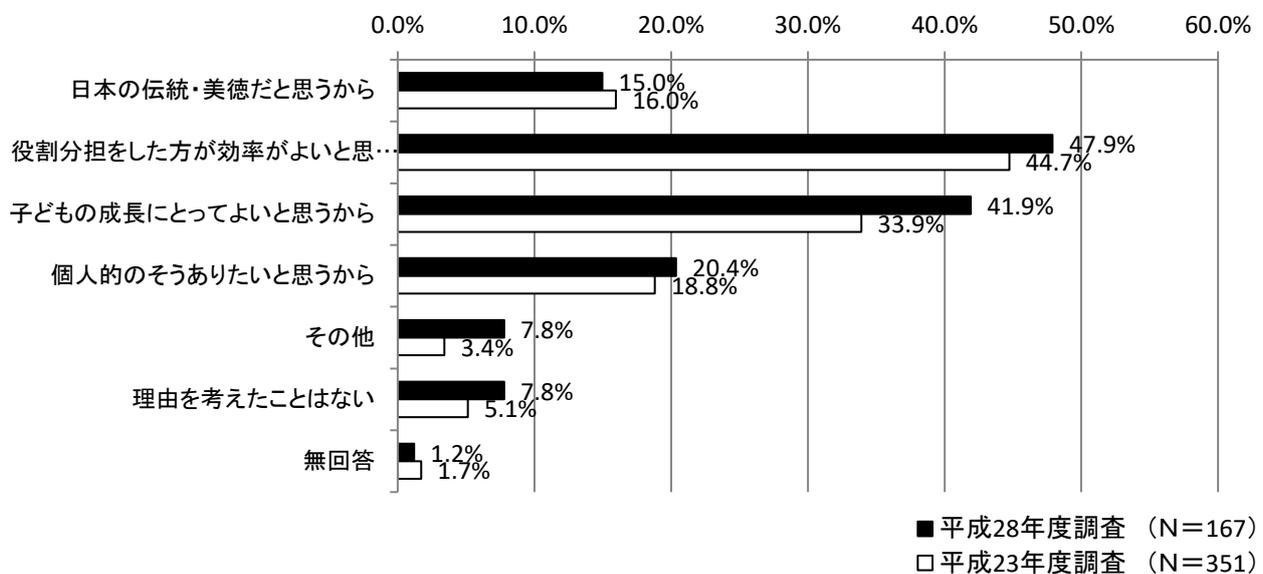
「同感する」と「どちらかといえば同感する」をあわせた“同感する”の割合が38.1%、「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」をあわせた“同意しない”の割合が53.3%となっている。  
前回調査結果と比較すると、“同意しない”の割合が高くなっている。



**問10-1. なぜそう思いますか。同感する人、同感しない人それぞれ、あてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。**

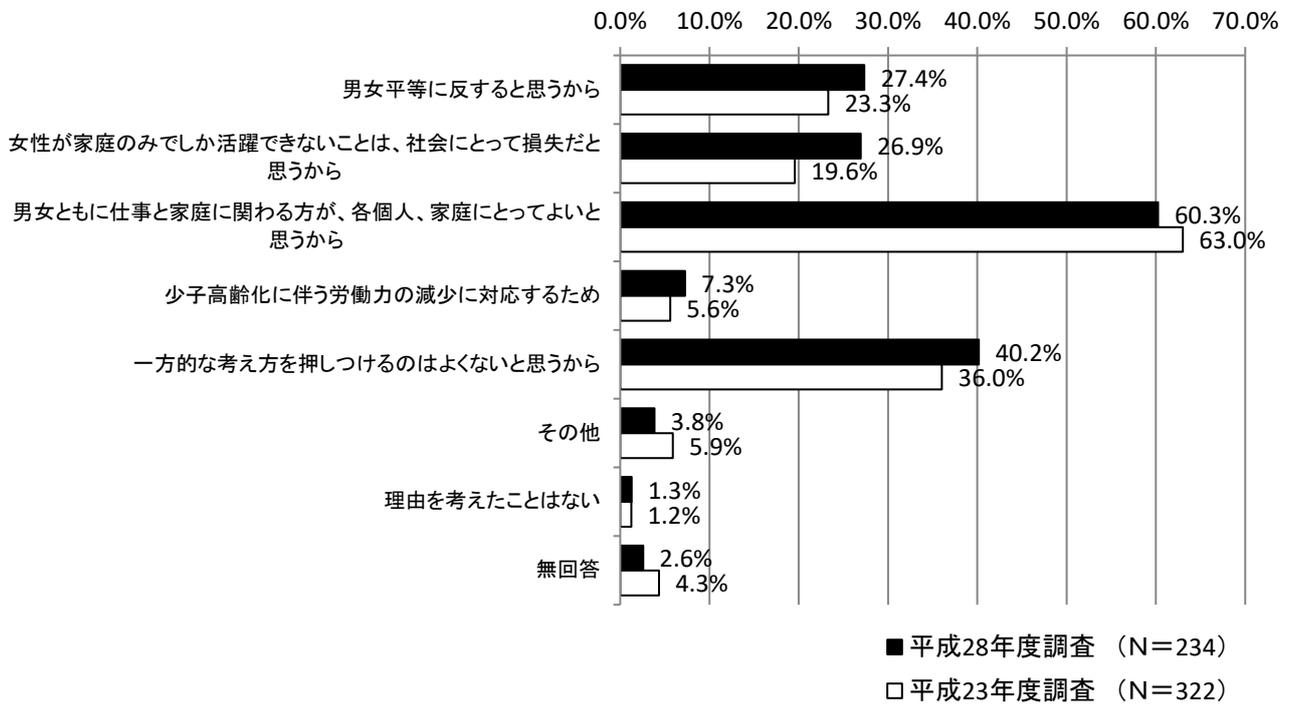
【「1. 同感する」「2. どちらかといえば同感する」と答えた方】

「役割分担をした方が効率がよいと思うから」の割合が47.9%と最も高く、次いで「子どもの成長にとってよいと思うから」の割合が41.9%、「個人的にそうありたいと思うから」の割合が20.4%となっている。  
前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。



【「3. どちらかといえば同感しない」「4. 同感しない」と答えた方】

「男女ともに仕事と家庭に関わる方が、各個人、家庭にとってよいと思うから」の割合が60.3%と最も高く、次いで「一方的な考え方を押しつけるのはよくないと思うから」の割合が40.2%、「男女平等に反すると思うから」の割合が27.4%となっている。



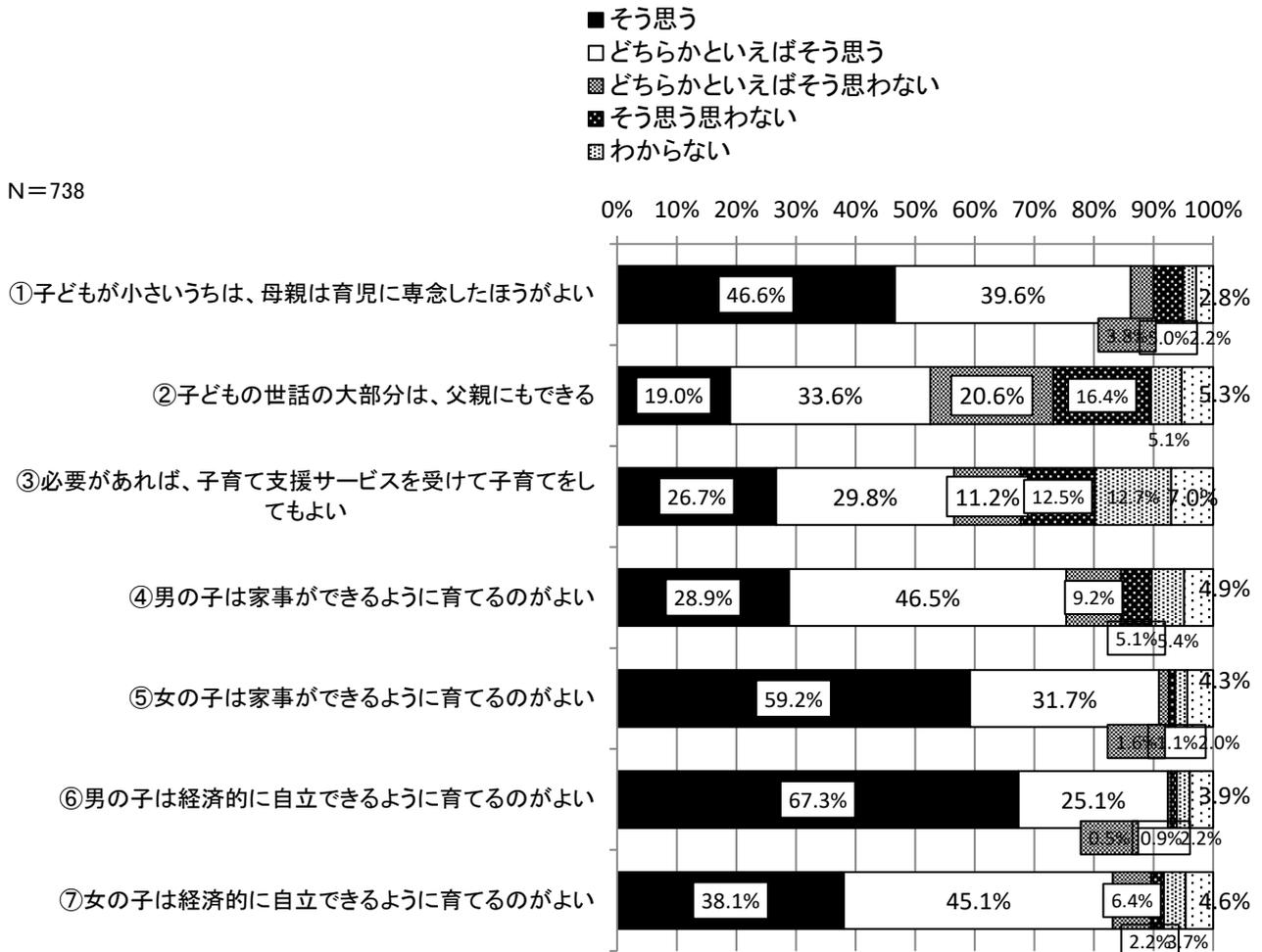
## (5)子育てについて

問11. 子育てについて、あなたのご意見にもっとも近いのはどれですか。  
①～⑦のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

すべての項目で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”人の割合が過半数を超えている。特に「⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい」「⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では高い割合になっている。

### 【平成23年度調査】

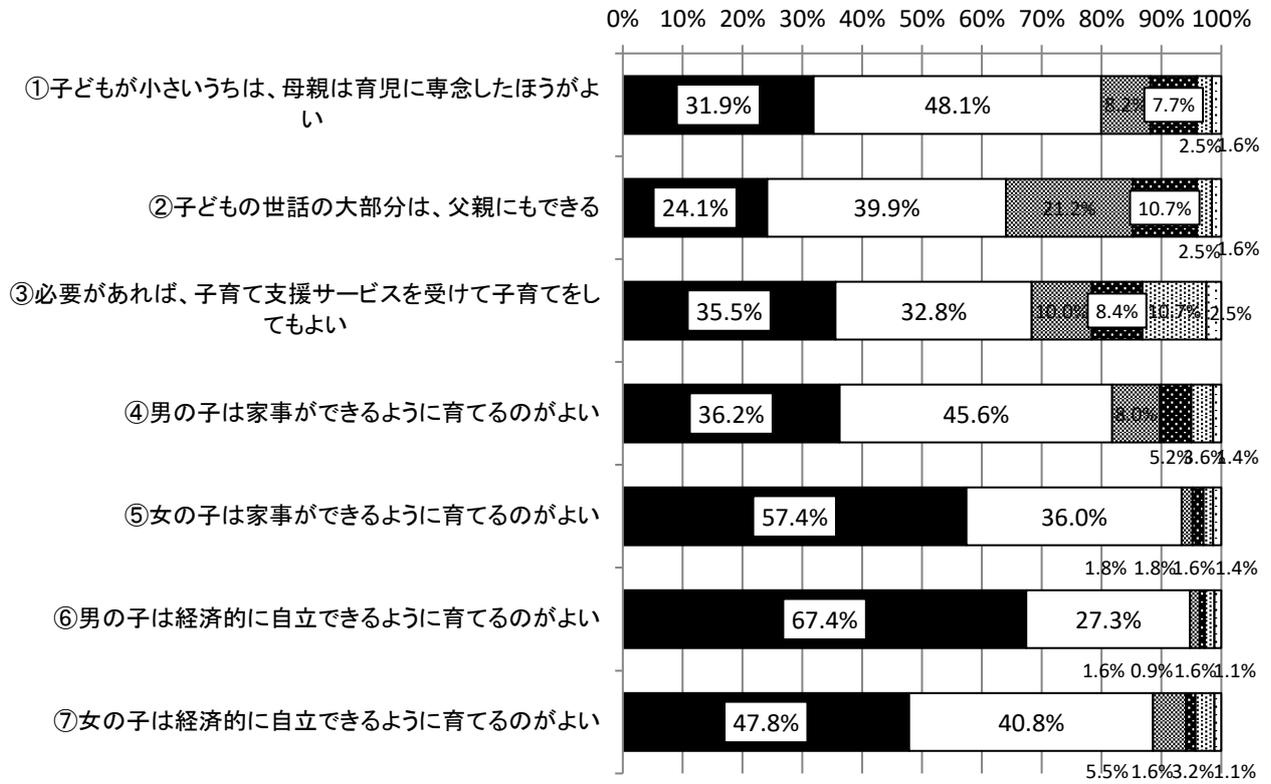
N=738



【平成28年度調査】

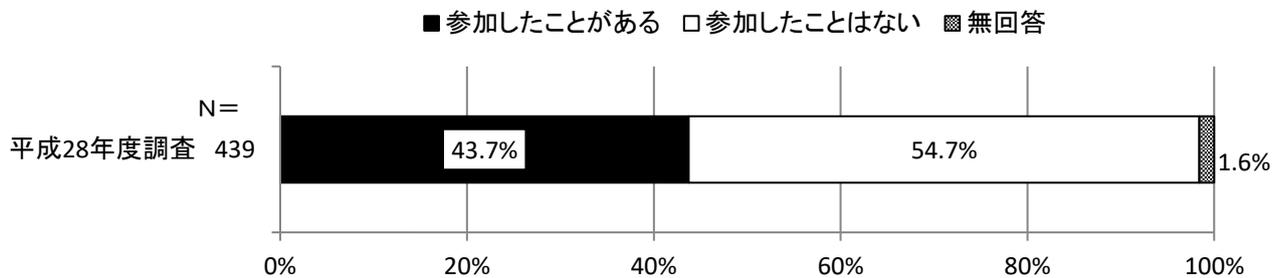
N=439

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- ▨ どちらかといえばそう思わない
- そう思う思わない
- ▨ わからない
- 無回答

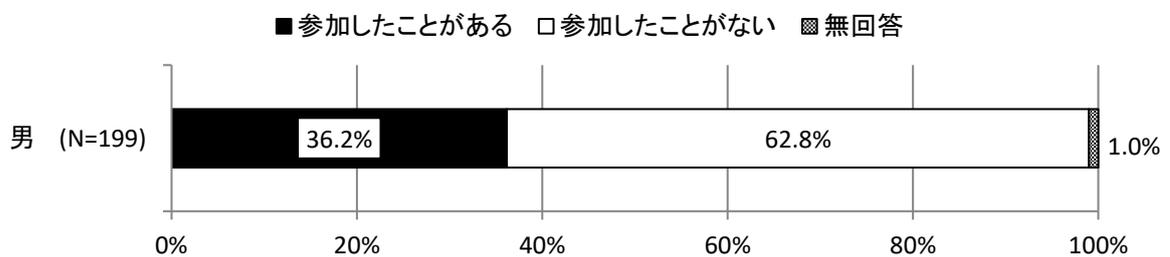


問12. あなたは、子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。どちらか1つに○印をつけてください。

「参加したことがある」の割合が43.7%、「参加したことはない」の割合が54.7%となっている。



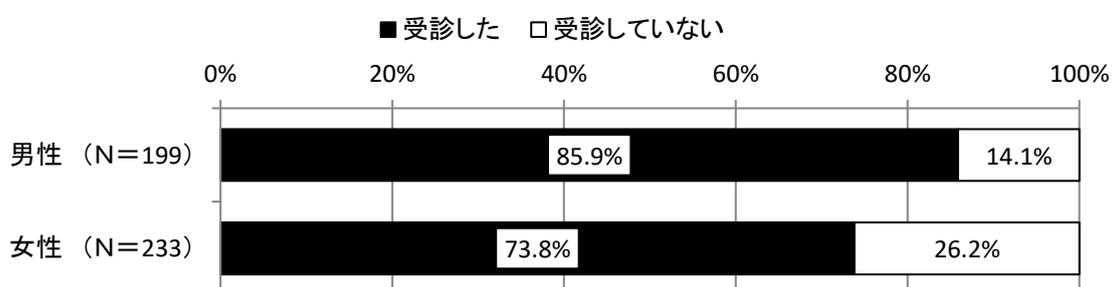
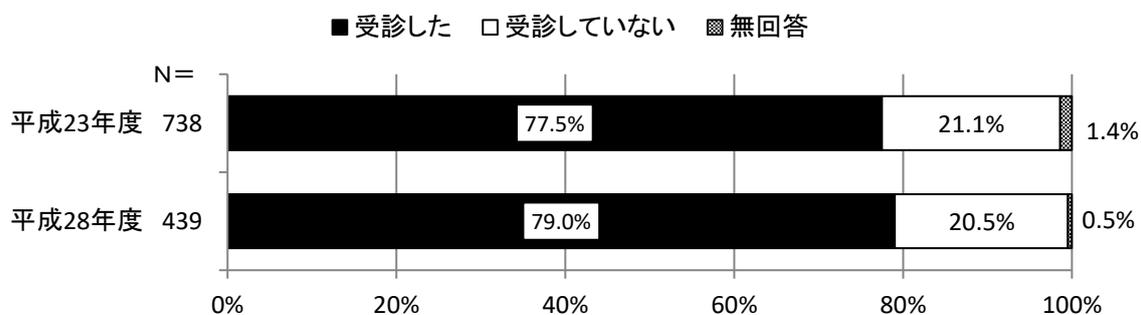
※平成23年度調査には該当設問はありません。



## (6)健康・介護について

問13. あなたは、平成27年度(平成27年4月～平成28年3月)の1年間で、健康診断を受診しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

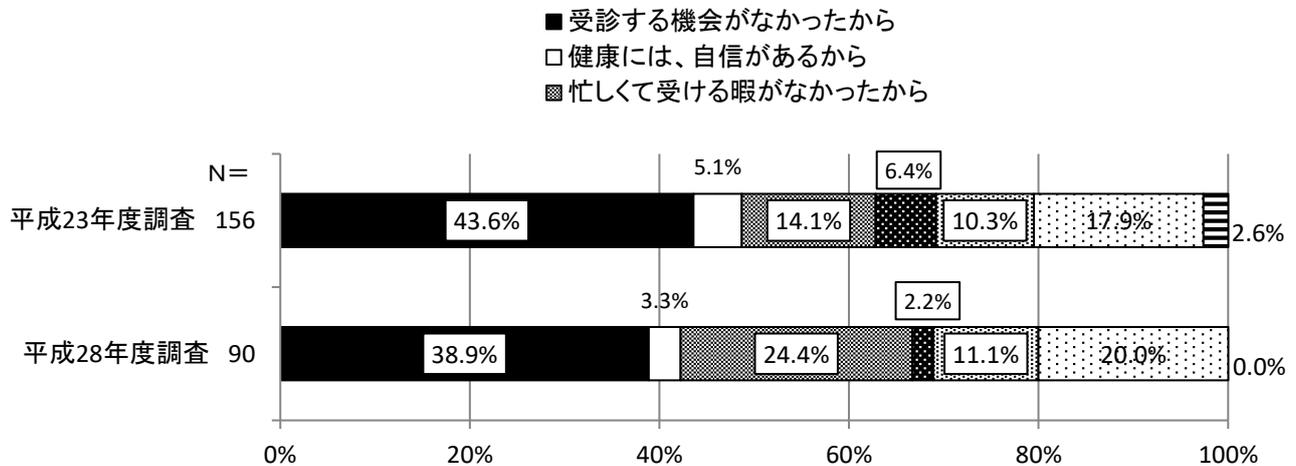
「受診した」の割合が79.0%、「受診していない」の割合が20.5%となっている。前回調査と比較すると、大きな変化は見られない。



**問13-1. 問13で「2. 受診していない」と答えた方にお聞きします。なぜ、受診しなかったのですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

「受診する機会がなかったから」の割合が38.9%と最も高く、次いで「忙しくて受ける暇がなかったから」の割合が24.4%、「健康診断は好まないから」の割合が11.1%となっている。

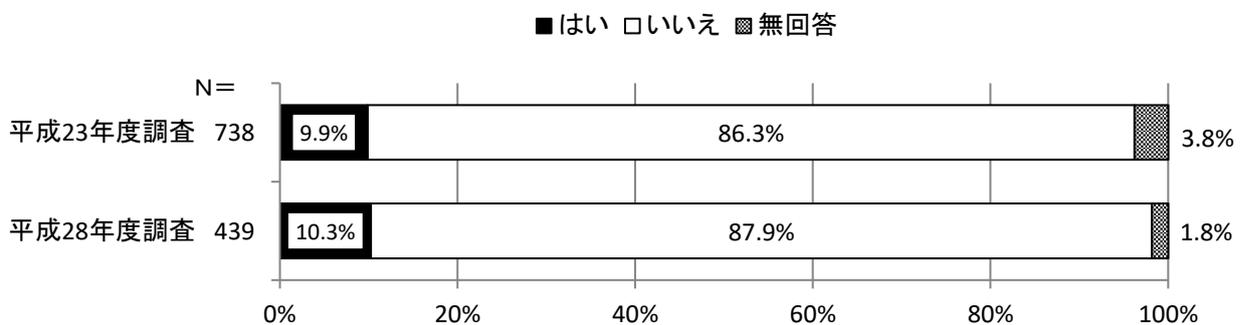
前回調査と比較すると、「忙しくて受ける暇がなかったから」の割合が10%ほど高くなっている。



**問14. あなたはの家庭に、常時介護の必要な方はいますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

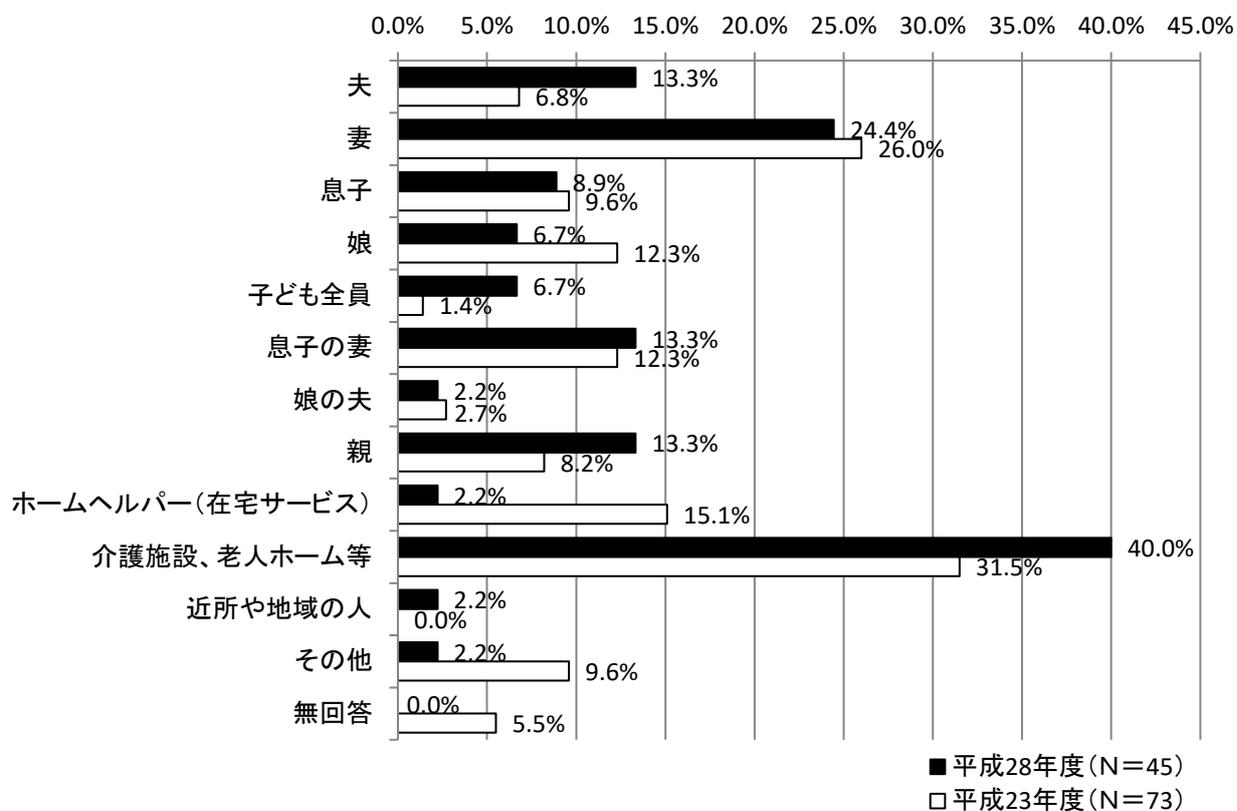
「はい」の割合が10.3%、「いいえ」の割合が87.9%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。



問14-1. 問14で「1. はい」と答えた方にお聞きます。その方の世話は誰がしてい  
 ○印をつけてください。  
 (※介護を受ける人からみた続柄でお答えください。)

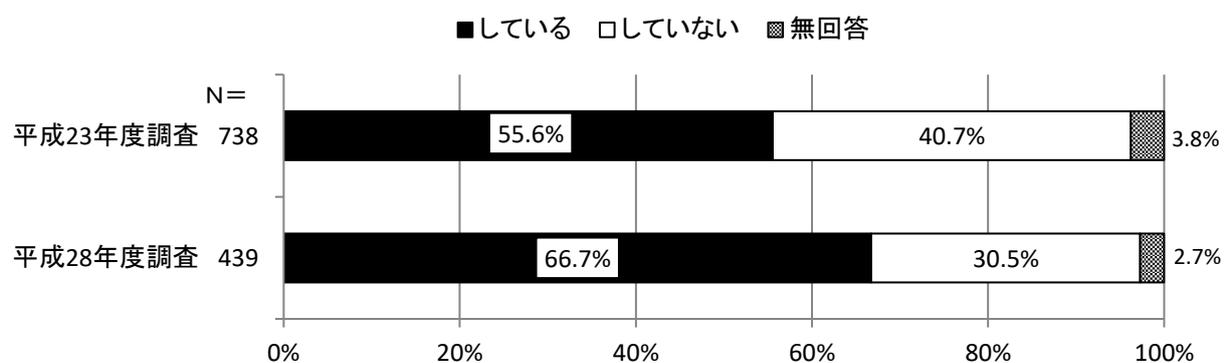
「介護施設、老人ホーム等」の割合が最も高く、前年度調査よりも高い割合になっている。次いで「妻」の割合が24.4%、「夫」「息子の嫁」「親」の割合が13.3%となっている。  
 前回調査結果と比較すると、「ホームヘルパー(在宅サービス)」の割合が低くなっている。



## (7) 就労について

問15. あなたは現在、収入を得る仕事(産前・産後休暇、育児・介護休業、私傷病休職中なども含む)をしていますか。次の中から選んで○印をつけてください。

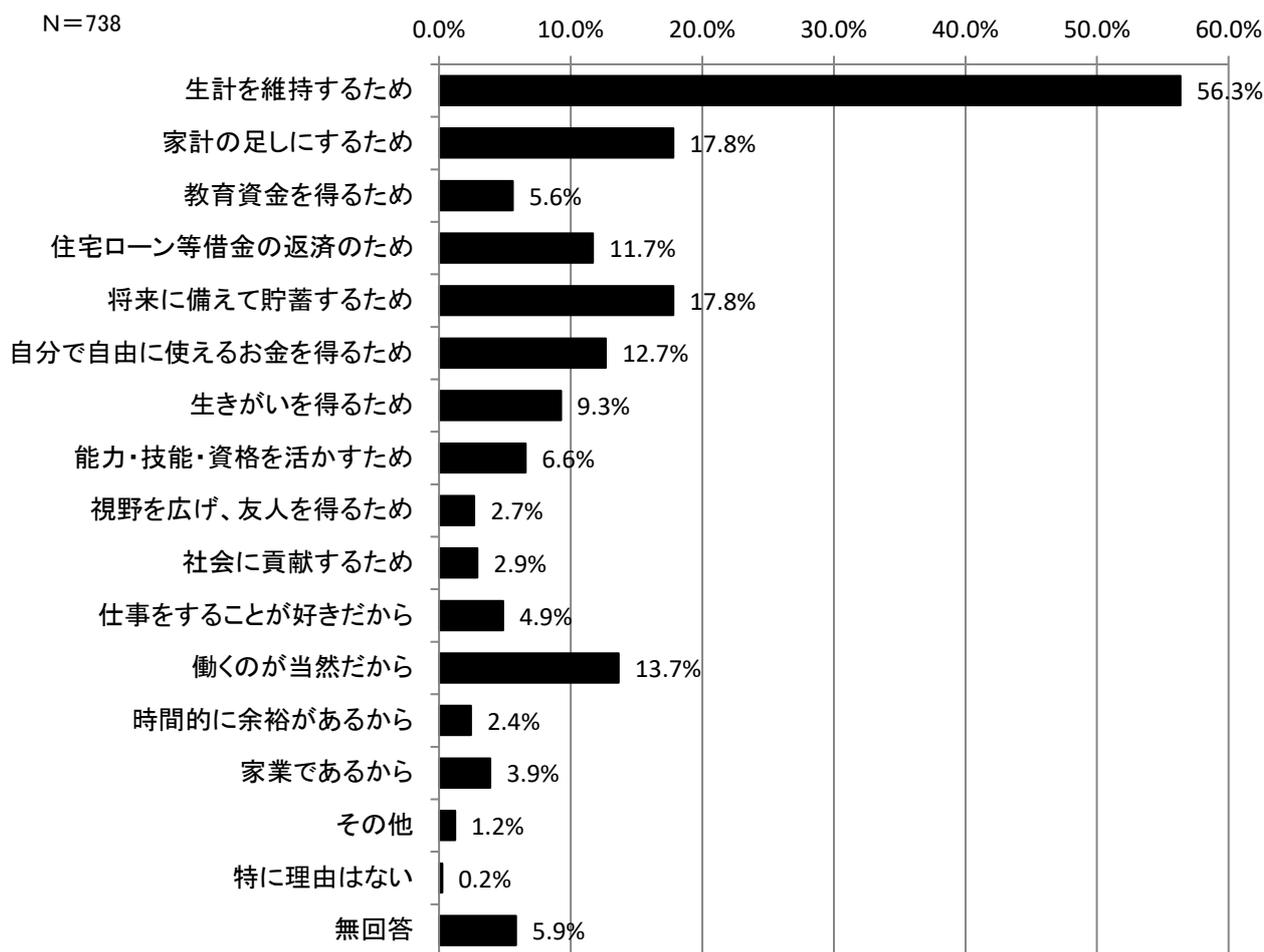
「している」の割合が66.7%、「していない」の割合が30.5%となっている。  
前回調査結果と比較すると、「している」の割合が高くなっている。



問15-1. 問15で「1. している」と答えた方にお聞きします。あなたが働いているのはどのような理由からですか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

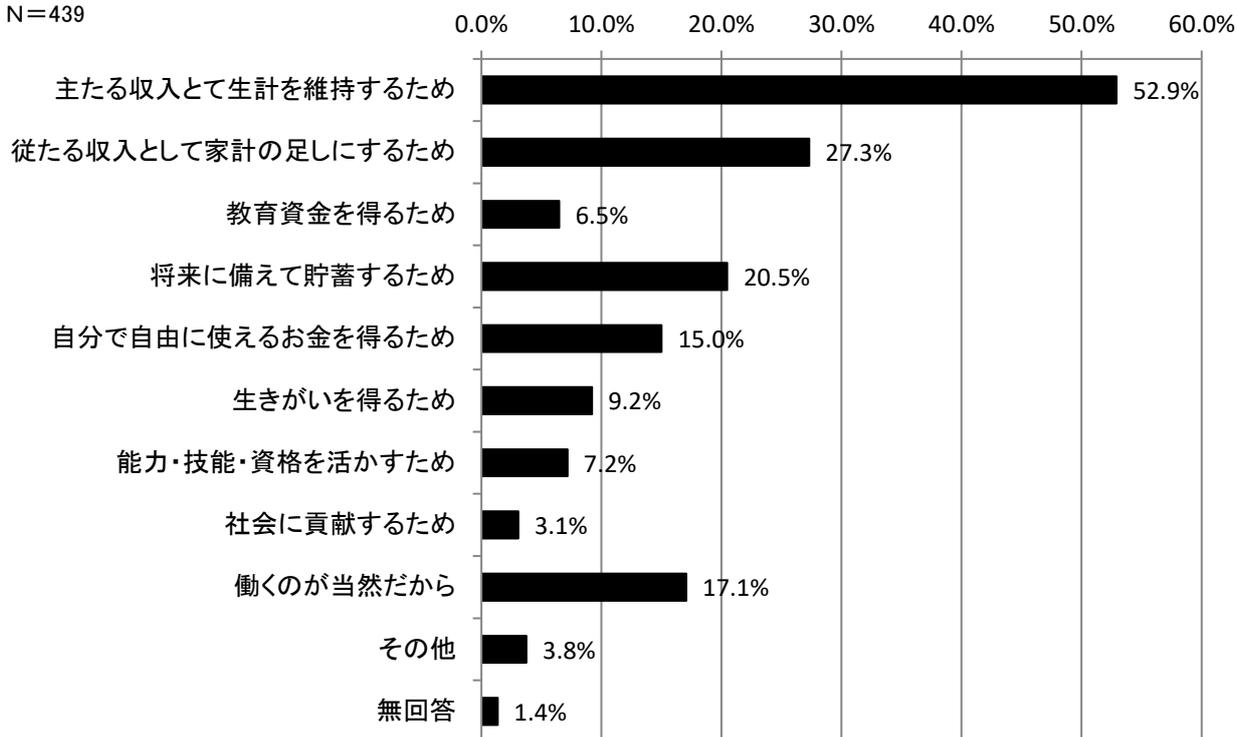
「主たる収入として生計を維持するため」の割合が53.9%と最も高く、次いで「従たる収入として家計の足しにするため」の割合が27.3%、「将来に備えて貯蓄するため」の割合が20.5%となっている。

【平成23年度調査】



【平成28年度調査】

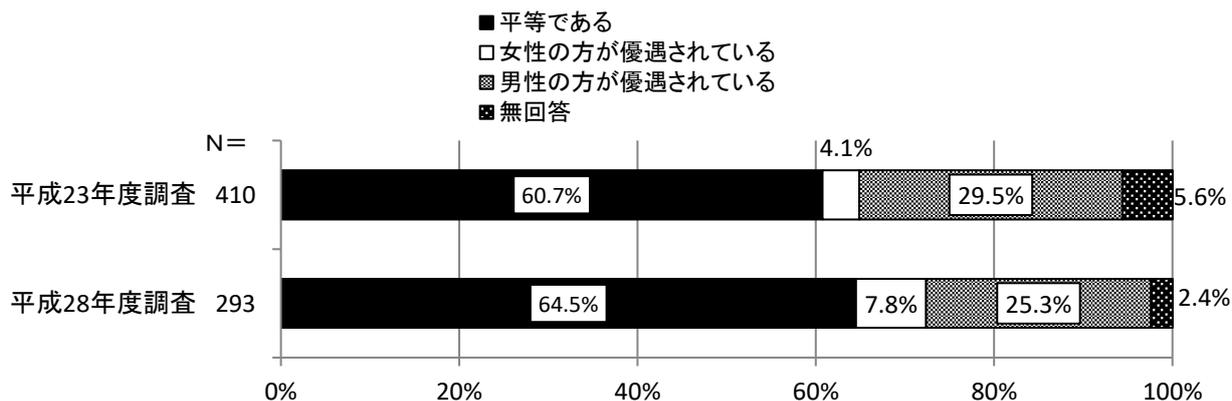
N=439



問15-2. 問15で「1. している」と答えた方にお聞きします。あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「平等である」の割合が64.5%と最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」の割合が25.3%、「女性の方が優遇されている」の割合が7.8%となっている。

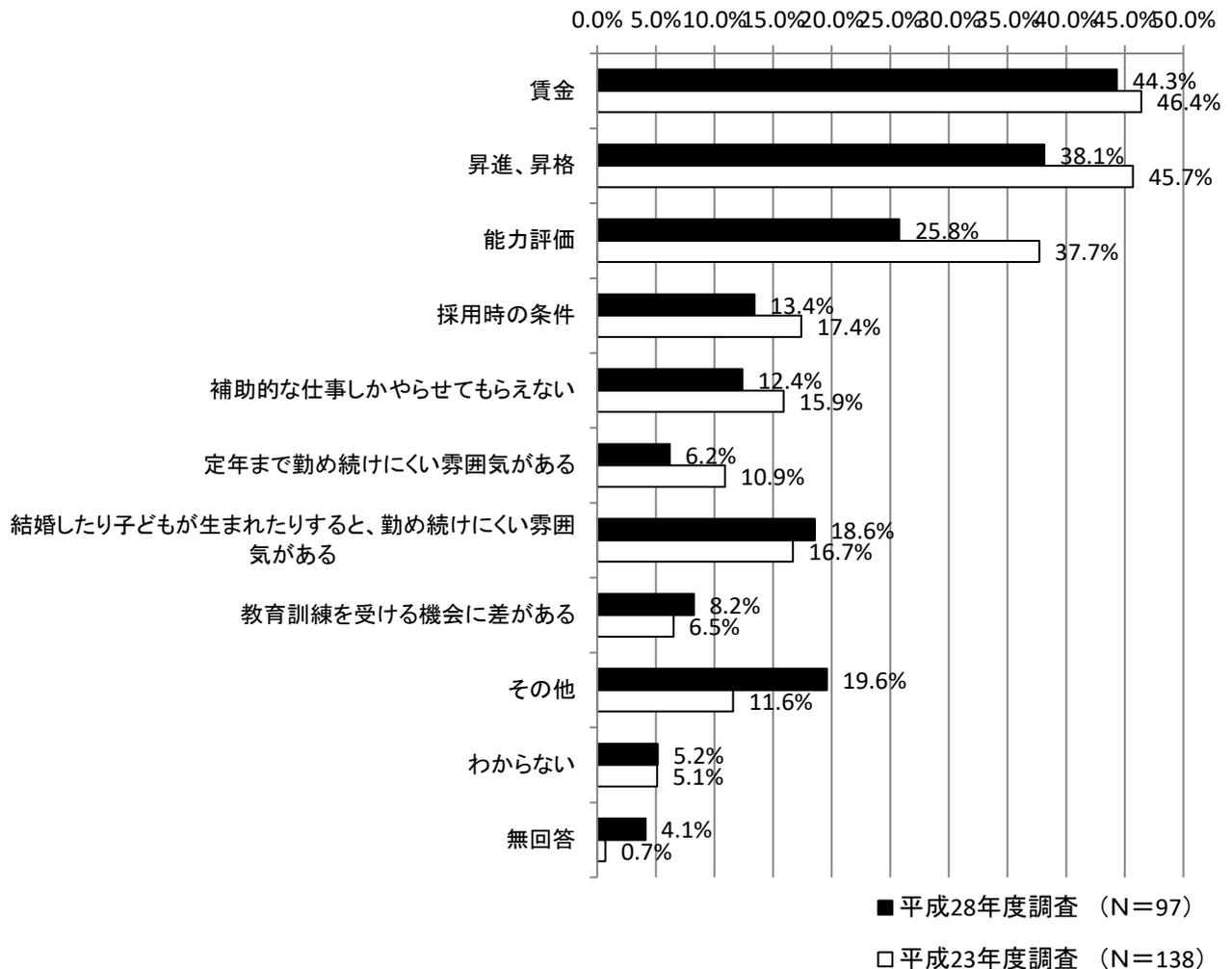
前回調査結果と比較してみると、「平等である」「女性の方が優遇されている」の割合は高くなっており、「男性の方が優遇されている」の割合が低くなっている。



問15-3. 問15-2で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた人にお聞きします。あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

「賃金」の割合が44.3%と最も高く、次いで「昇進、昇格」の割合が38.1%、「能力評価」の割合が25.8%となっている。

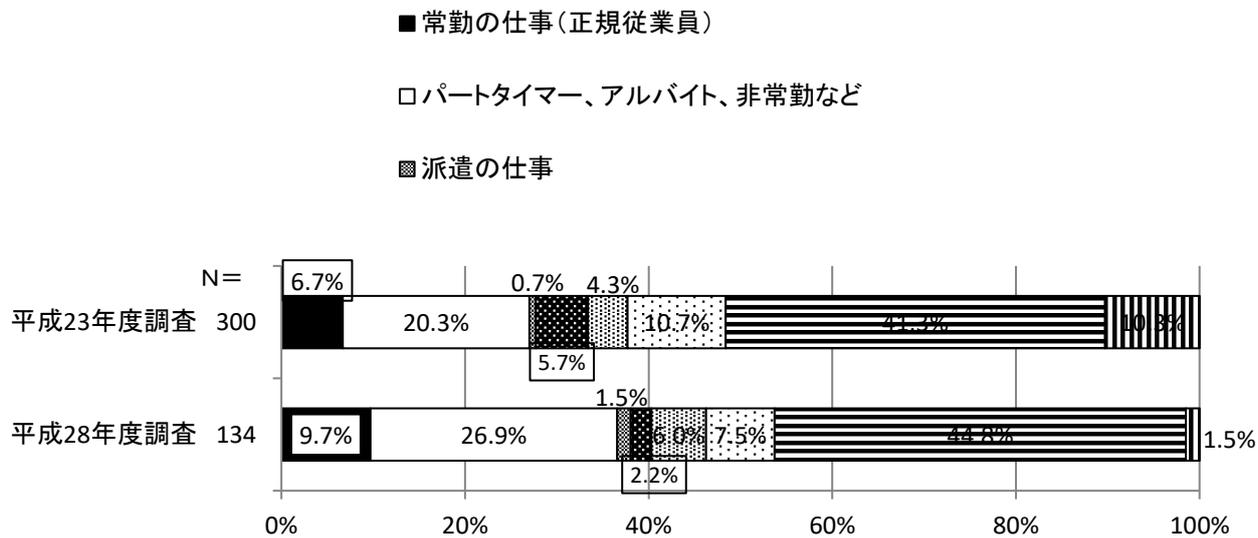
前回調査結果と比較すると、「結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある」「教育訓練を受ける機会に差がある」の割合が高くなっている。一方、その他の全ての項目で、低い割合になっている。



問15-4. 問15で「2. していない」と答えた方にお聞きします。今後適当な仕事があれば働きたいですか。働きたい仕事の形を、次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「働きたいと思わない」の割合が44.8%と最も高く、次いで「パートタイマー、アルバイト、非常勤など」の割合が26.9%、「常勤の仕事(正規従業員)」の割合が9.7%となっている。

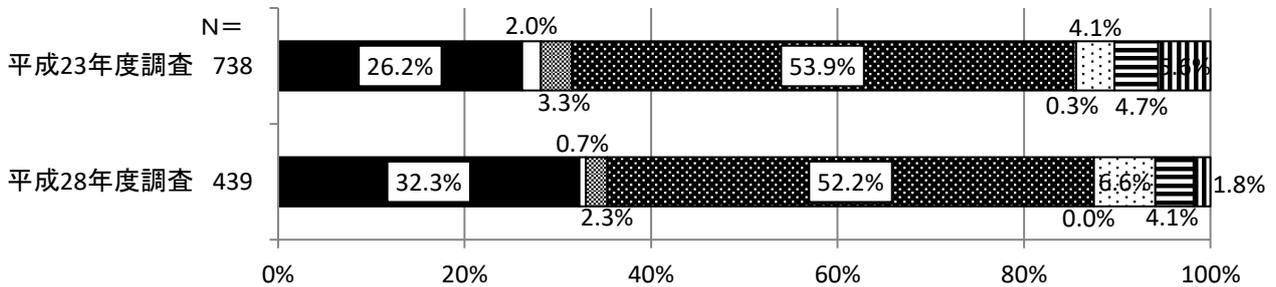
前回調査結果と比較すると、「働きたいとは思わない」「パートタイマー、アルバイト、非常勤など」の割合が高くなっている。



**問16. 女性が職業をもつことについてあなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

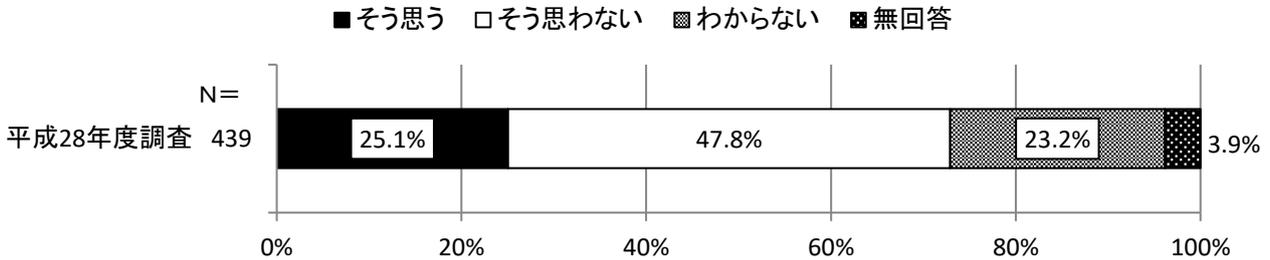
「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ方がいい」の割合が52.2%と最も高く、次いで「結婚して子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける方がいい」の割合が前回調査結果と比較すると、「結婚して子どもが生まれた後も、職業は持ち続ける方がいい」の割合が高くなっている。

- 結婚して子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける方がいい
- 結婚するまでは職業をもつが、その後は持たない方がいい
- ▣ 結婚して子どもができるまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい
- ▤ 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい



**問17. あなたは、現在の女性は働きやすい状況にあると思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

「そう思わない」の割合が47.8%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が25.1%、「わからない」の割合が23.2%となっている。

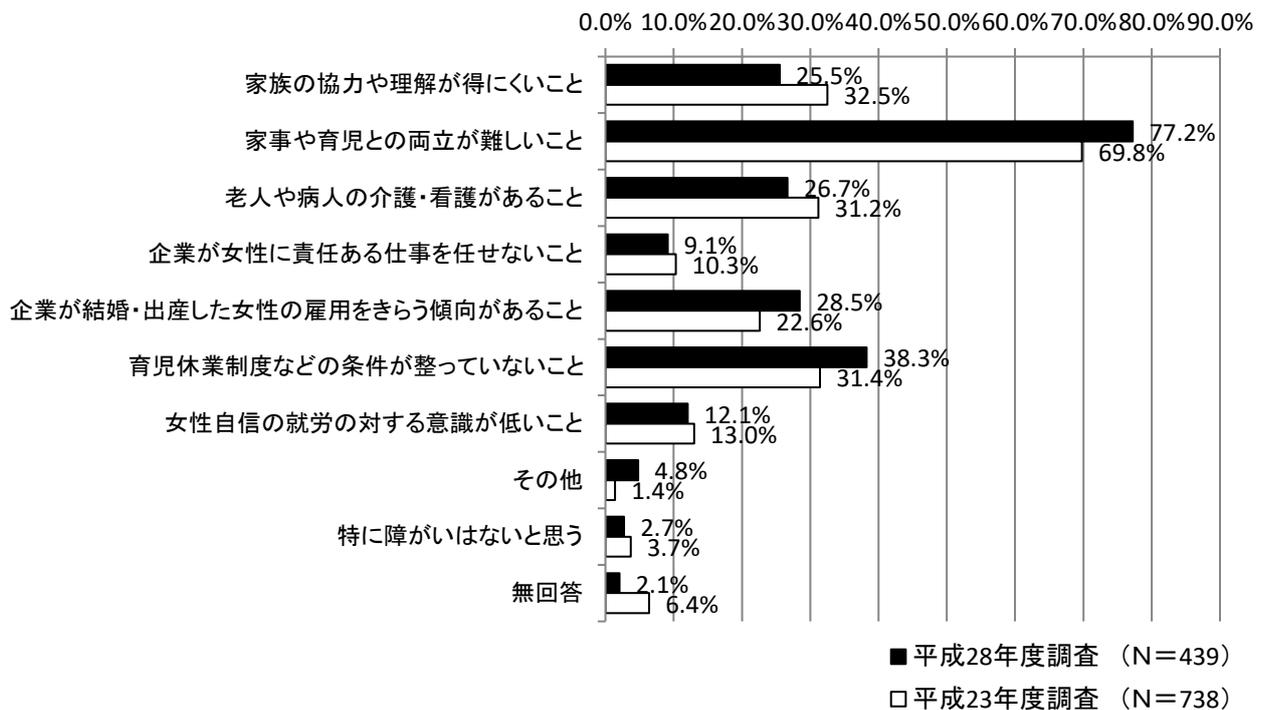


※平成23年度調査には該当設問はありません。

**問18. 女性が働き続けていくうえで、大きな障がいになっているのは何だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。**

「家事や育児との両立が難しいこと」の割合が前年度調査と同様に最も高く、77.2%となっている。次いで、「育児休業制度などの条件が整っていないこと」の割合が38.3%、「企業が結婚・出産した女性の雇いをきらい傾向があること」の割合が28.5%となっている。

前回調査結果と比較すると、「家族の協力や理解が得にくいこと」の割合が低くなっている。



問19. あなたは、次の制度の内容についてご存じですか。また実際に取得したことがありますか。それぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

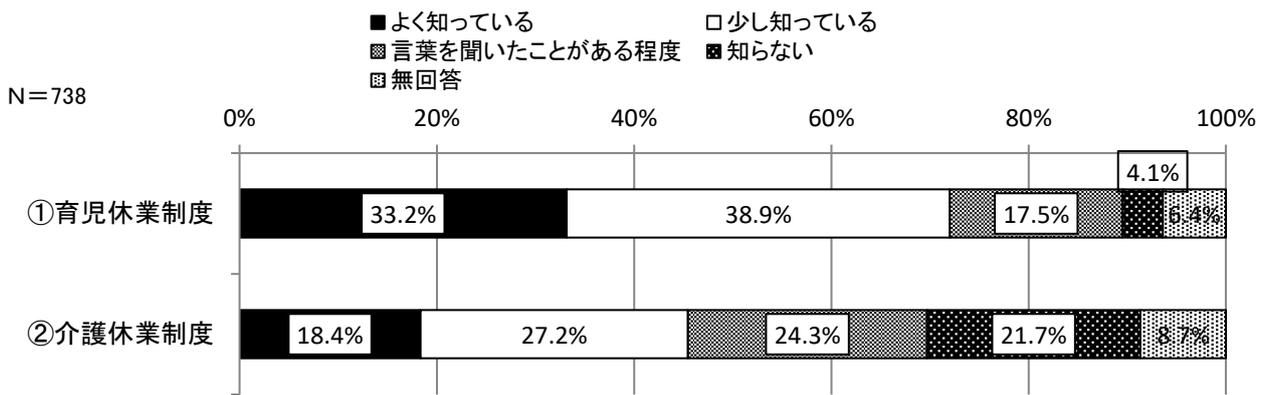
① 内容を知っているか

育児休業制度では「よく知っている」の割合が39.0%と最も高く、次いで「少し知っている」の割合が36.9%、「言葉を聞いたことがある程度」の割合が18.7%となっている。

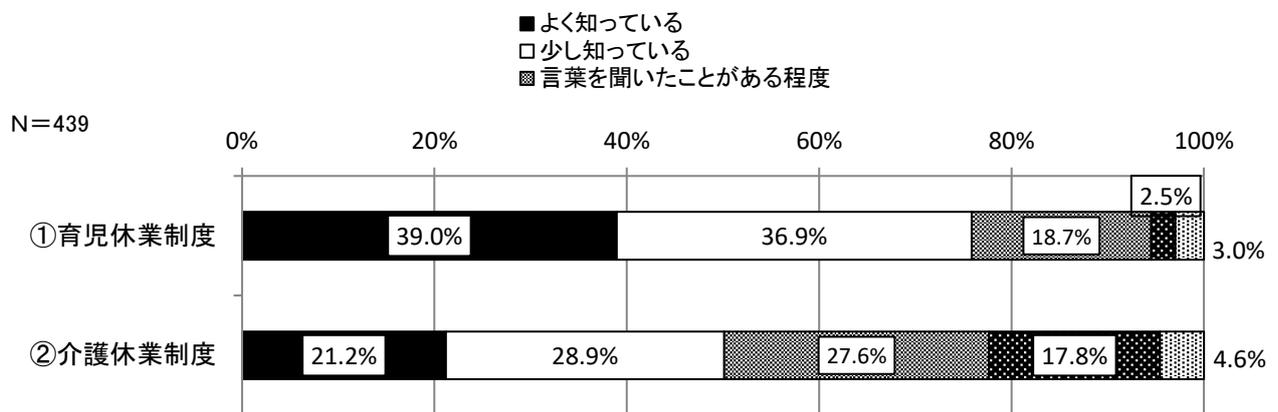
介護休業制度では「少し知っている」の割合が28.9%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」の割合が27.6%、「よく知っている」の割合が21.2%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。

【平成23年度調査】



【平成28年度調査】



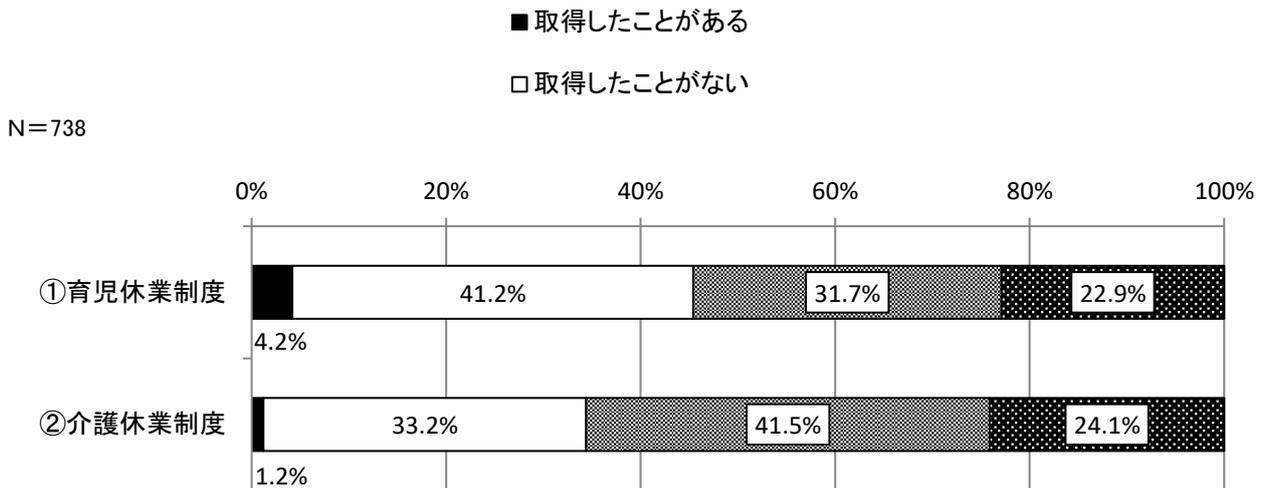
② 取得してことがあるか

育児休業制度では、「取得したことがない」の割合が46.2%と最も高く、次いで「取得の対象となる者がいない」の割合が33.3%となっている。

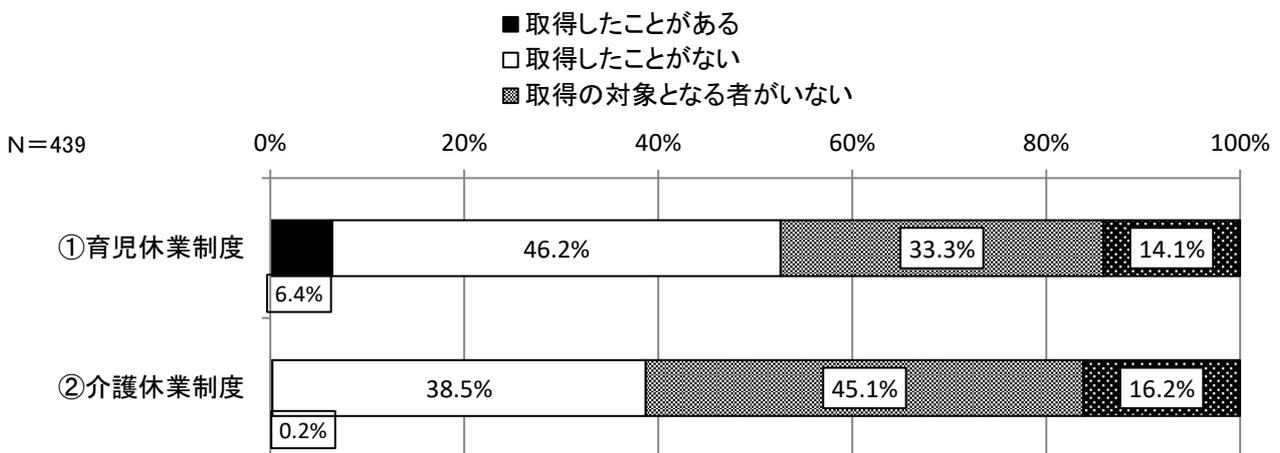
介護休業制度では、「取得の対象となる者がいない」の割合が45.1%と最も高く、次いで「取得したことがない」の割合が38.5%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。

【平成23年度調査】



【平成28年度調査】

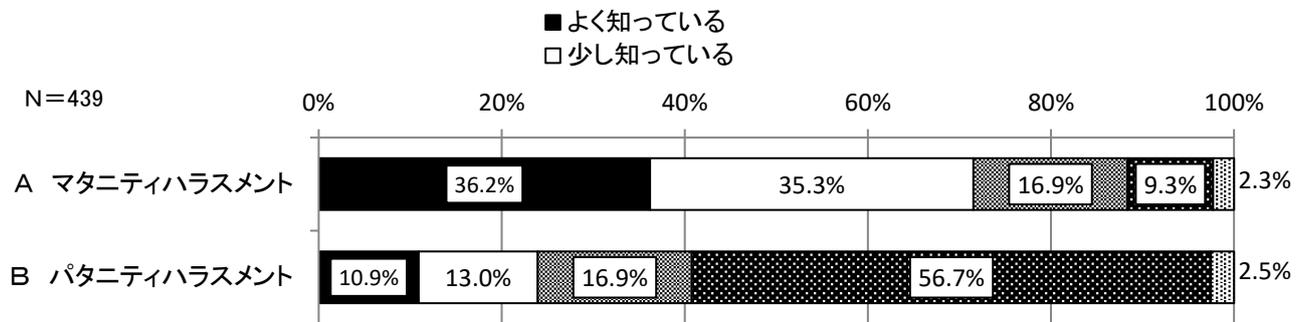


## (8) マタニティハラスメント・パタニティハラスメントについて

問20. あなたは、次の言葉をどの程度知っていますか。AとBのそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

マタニティハラスメントでは、「よく知っている」「少し知っている」をあわせた“知っている”の割合が71.5%となっている。一方、パタニティハラスメントでは“知っている”の割合が23.9%となっている。

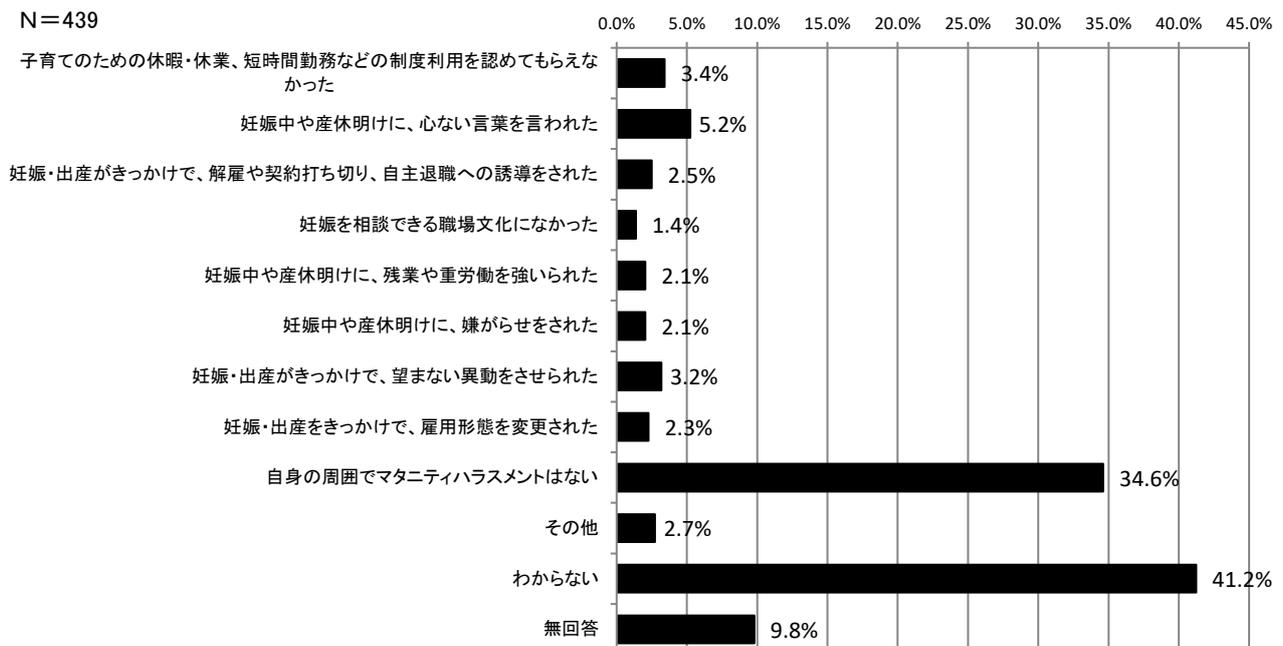
また、マタニティハラスメントでは「知らない」の割合が9.3%になっているのに対し、パタニティハラスメントでは56.7%となっており、マタニティハラスメントに比べて高い割合になっている。



※平成23年度調査には該当設問はありません。

問21. あなた自身やあなたの周囲で、職場におけるマタニティハラスメントを経験した人はいますか。それは、どのようなマタニティハラスメントでしたか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

「わからない」の割合が41.2%と最も高く、次いで「自身の周囲でマタニティハラスメントはない」の割合が34.6%となっている。

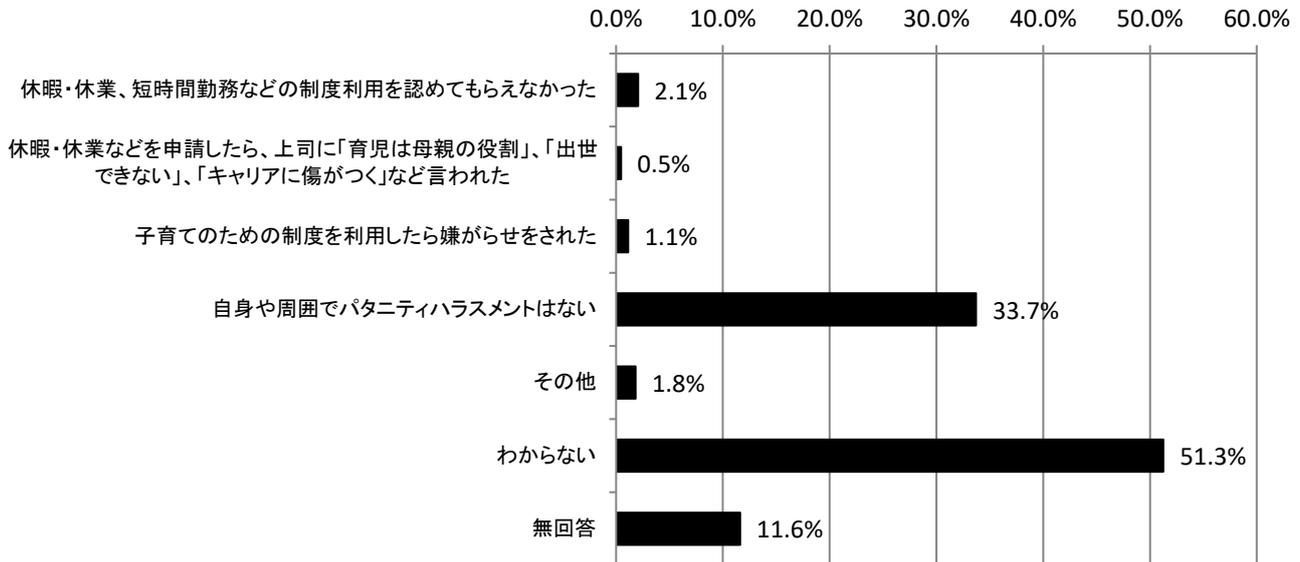


※平成23年度調査には該当設問はありません。

**問22. あなた自身やあなたの周囲で、職場におけるパタニティハラスメントを経験した人はいですか。それは、どのようなパタニティハラスメントでしたか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。**

「わからない」の割合が51.3%と最も高く、次いで「自身や周囲でパタニティハラスメントはない」の割合が33.7%となっている。

N=439



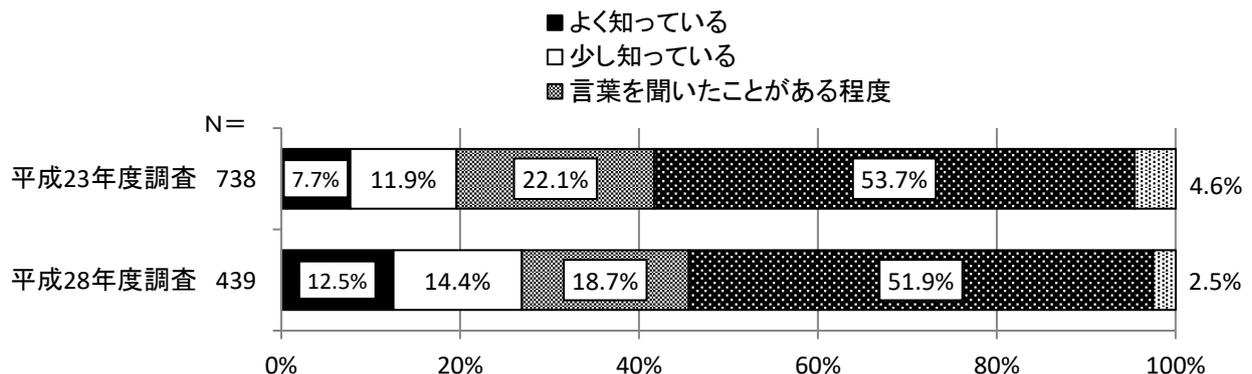
※平成23年度調査には該当設問はありません。

### (9) ワーク・ライフ・バランスについて

**問23. あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、ご存じですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

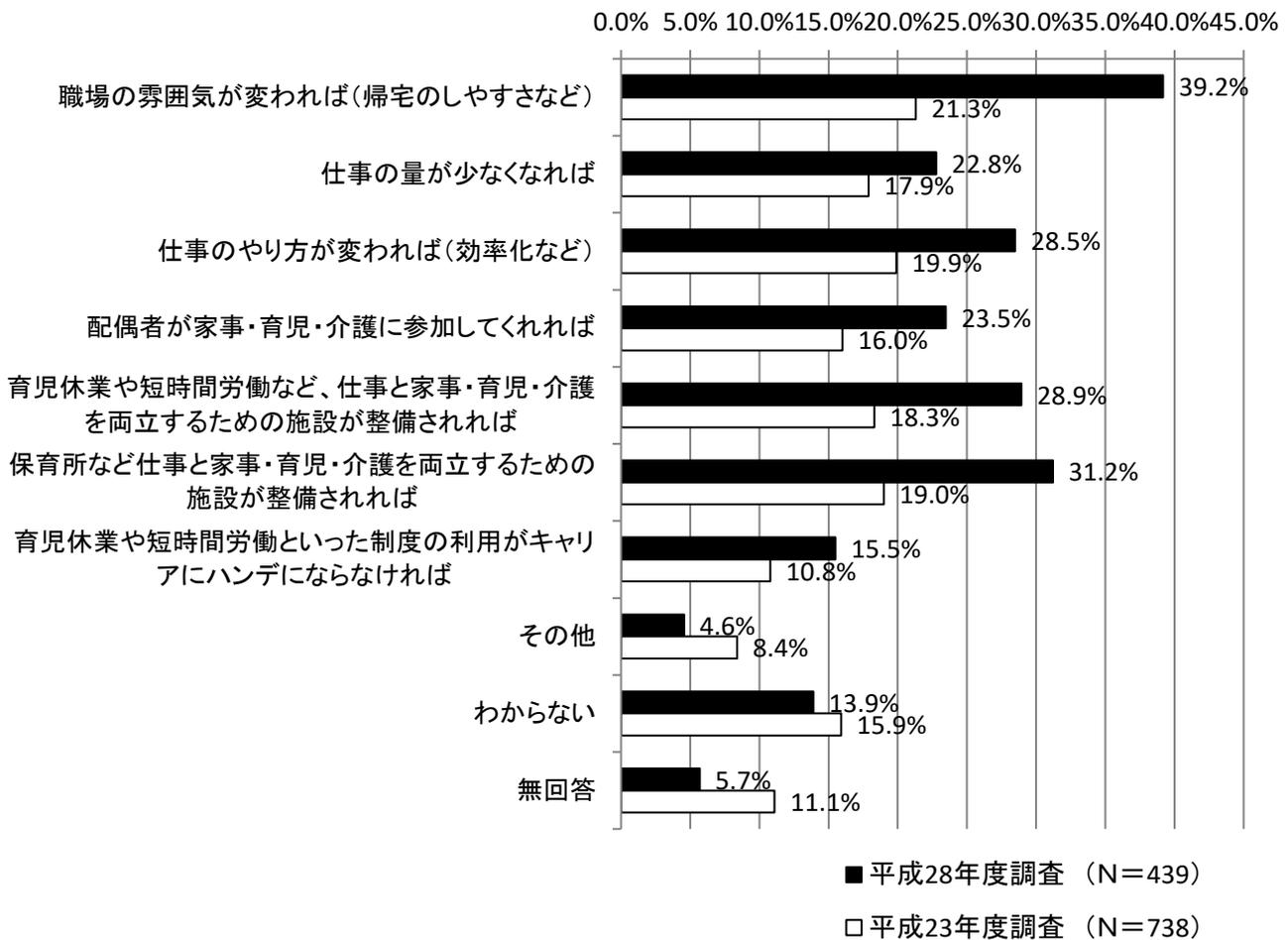
「知らない」の割合が51.9%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」の割合が18.7%、「少し知っている」の割合が14.4%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。



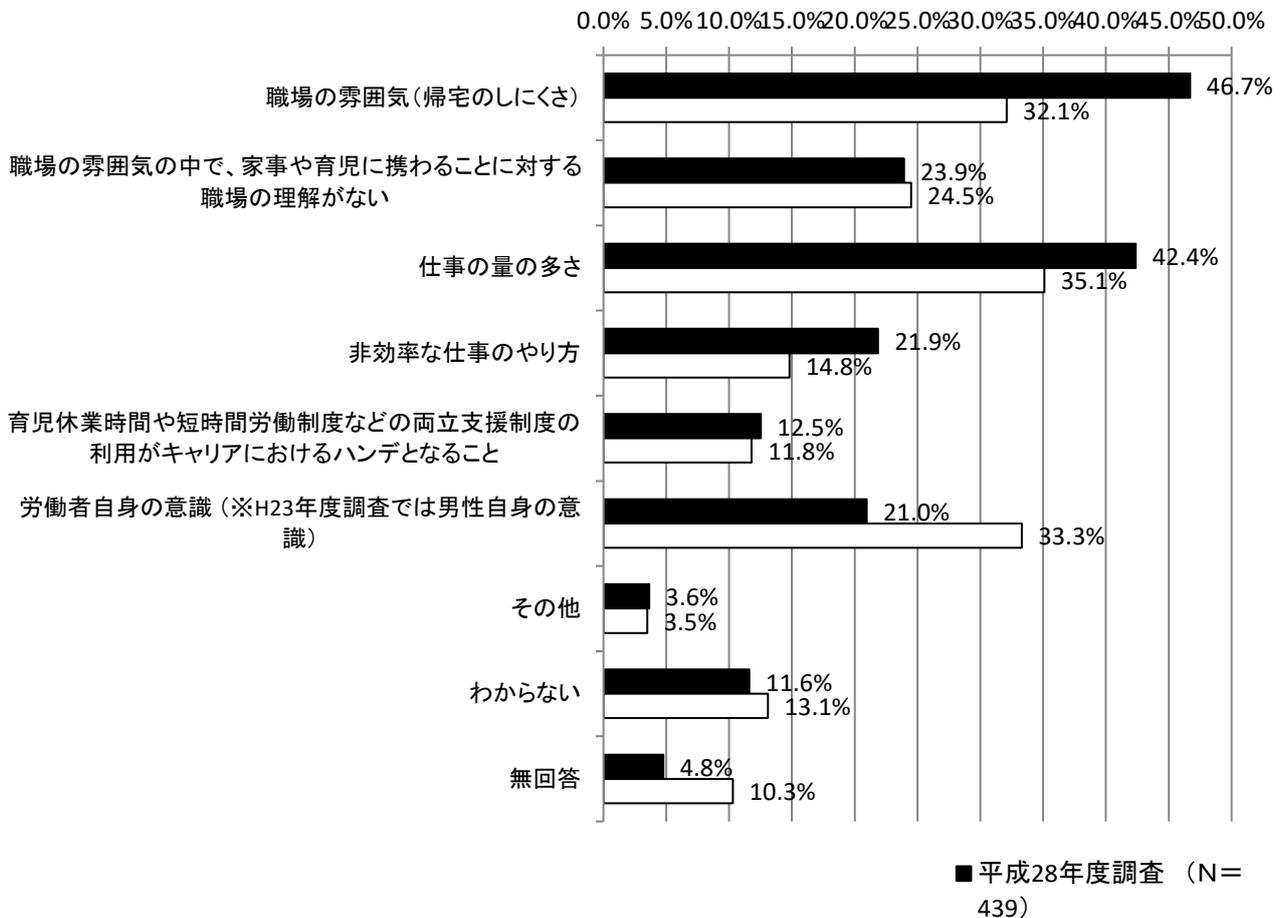
**問24. どのようにすれば、自分が希望する時間の取り方が出来ると思いますか。  
次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。**

「職場の雰囲気が変われば(帰宅のしやすさなど)」の割合が39.2%と最も高く、次いで「保育所など仕事と家事・育児・介護を両立するための施設が整備されれば」の割合が31.2%、「育児休業や短時間労働など、仕事と家事・育児・介護を両立するための施設が整備されれば」の割合が28.9%となっている。



問25. 長時間労働が顕著であったり、休みが取りにくかったりといった実情がありますが、これらの原因は何にあると思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んで選んで○印をつけてください。

「職場の雰囲気(帰宅のしにくさ)」の割合が46.7%と最も高く、次いで「仕事の量の多さ」の割合が42.4%、「職場の雰囲気の中で、家事や育児に携わることにに対する職場の理解がない」の割合が23.9%となっている。



## (10)ドメスティック・バイオレンスについて

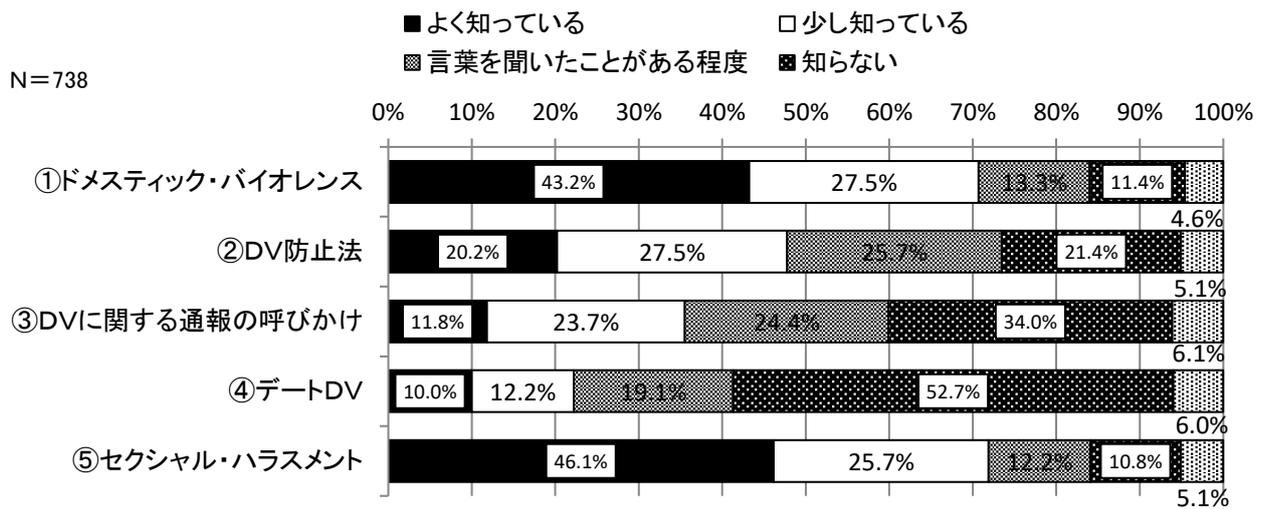
問26. あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存じですか。①～⑤について、1つずつ選んで○印をつけてください。

「①ドメスティック・バイオレンス」と「⑤セクシュアル・ハラスメント」では、“よく知っている”の割合が最も高く、4割を超えている。一方、「③DVに関する通報の呼びかけ」「④デートDV」では、“知らない”の割合が最も高くなっている。

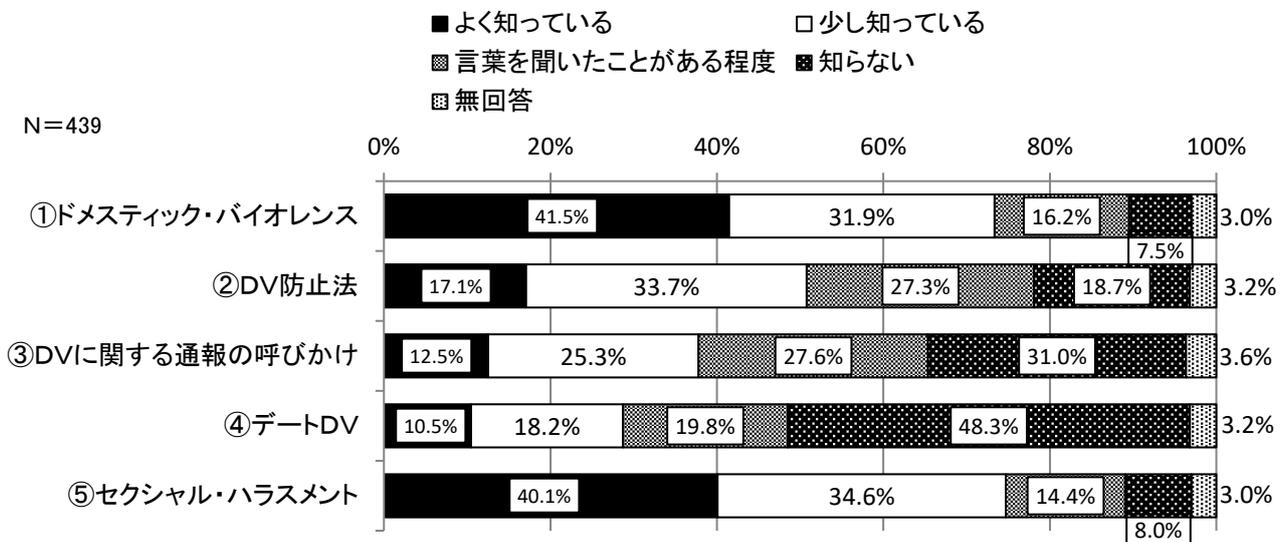
「②DV防止法」では“よく知っている”“少し知っている”をあわせた割合が50.8%、“知らない”の割合が18.7%となっている。

前回調査結果と比較すると、全ての項目で“よく知っている”“少し知っている”をあわせた“知っている”の割合が高くなっている。

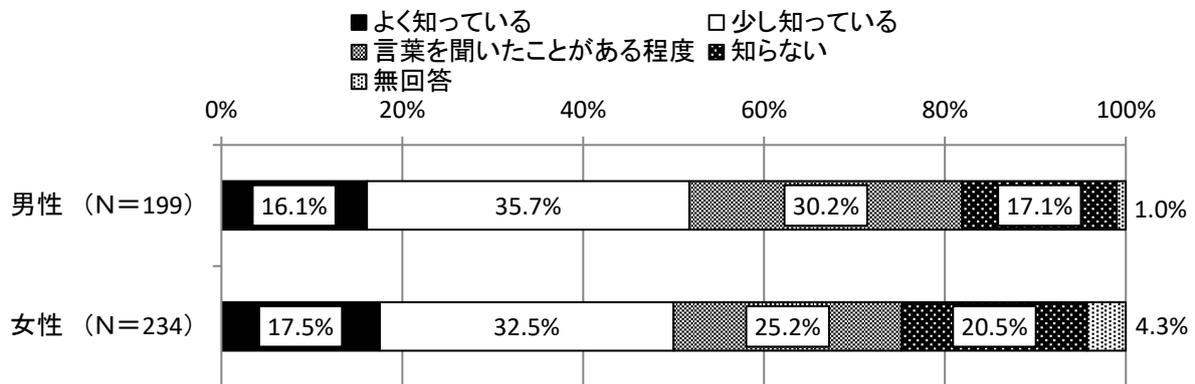
### 【平成23年度調査】



### 【平成28年度調査】

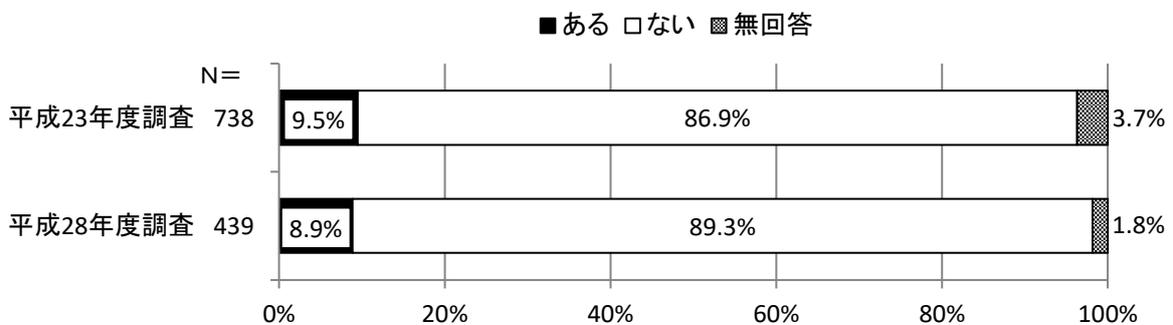


性別では、大きな差は見られない。



**問27. あなたはこれまでに、配偶者や恋人等から暴力を受けた経験がありますか。  
次の中から選んで○印をつけてください。**

「ある」の割合が8.9%、「ない」の割合が89.3%となっている。  
前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。



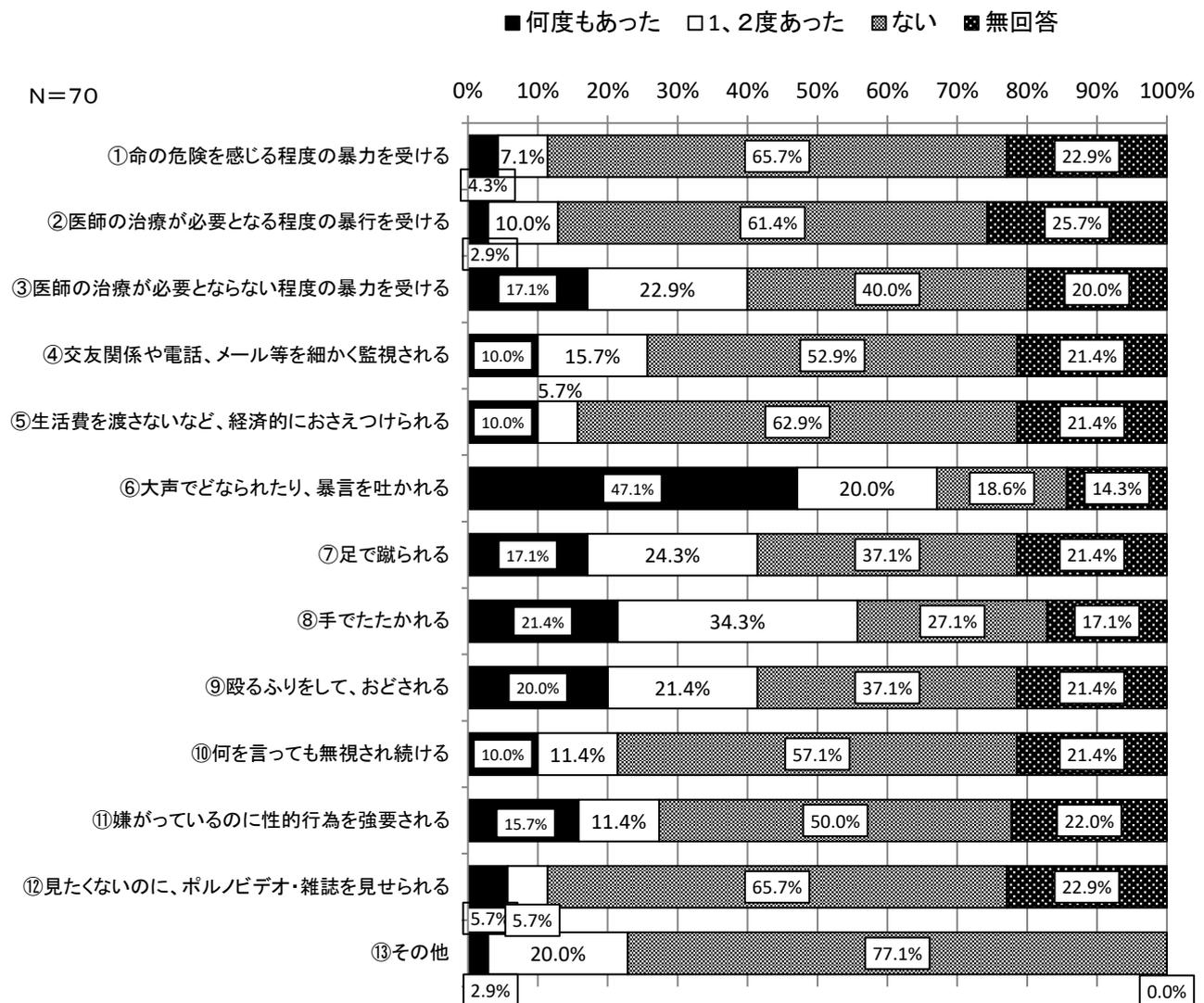
問27-1. 問27で「1. ある」と答えた方にお聞きします。その暴力はどのようなものでしたかこれまでの状況に関して①～⑬のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。また、現在の状況に関しても同様に、1つずつ選んで○印をつけてください。

① これまでの状況

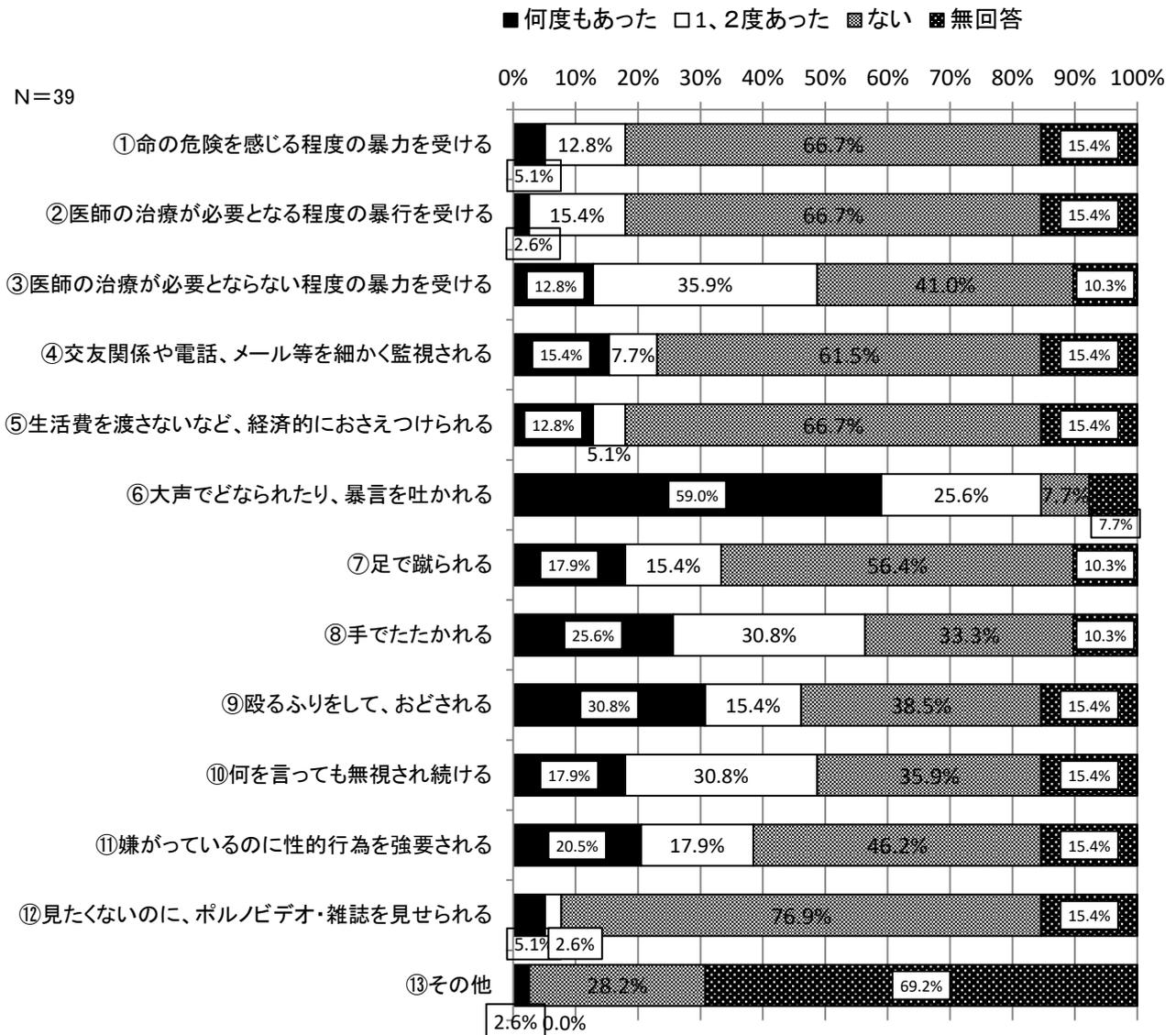
「⑥大声でどなられたり、暴言を吐かれる」「⑧手でたたかれる」「③医師の治療が必要とならない程度の暴行を受ける」では、“何度もあった”“1, 2度あった”をあわせたDV被害経験の割合が高くなっている。

前回調査結果と比較すると、「④交友関係や電話、メール等を細かく監視される」「⑦足で蹴られる」「⑧手でたたかれる」「⑫見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる」のでは、“何度もあった”“1, 2度あった”をあわせたDV被害経験の割合が低くなっている一方、その他の全て項目でDV被害の割合が高

【平成23年度調査】



【平成28年度調査】

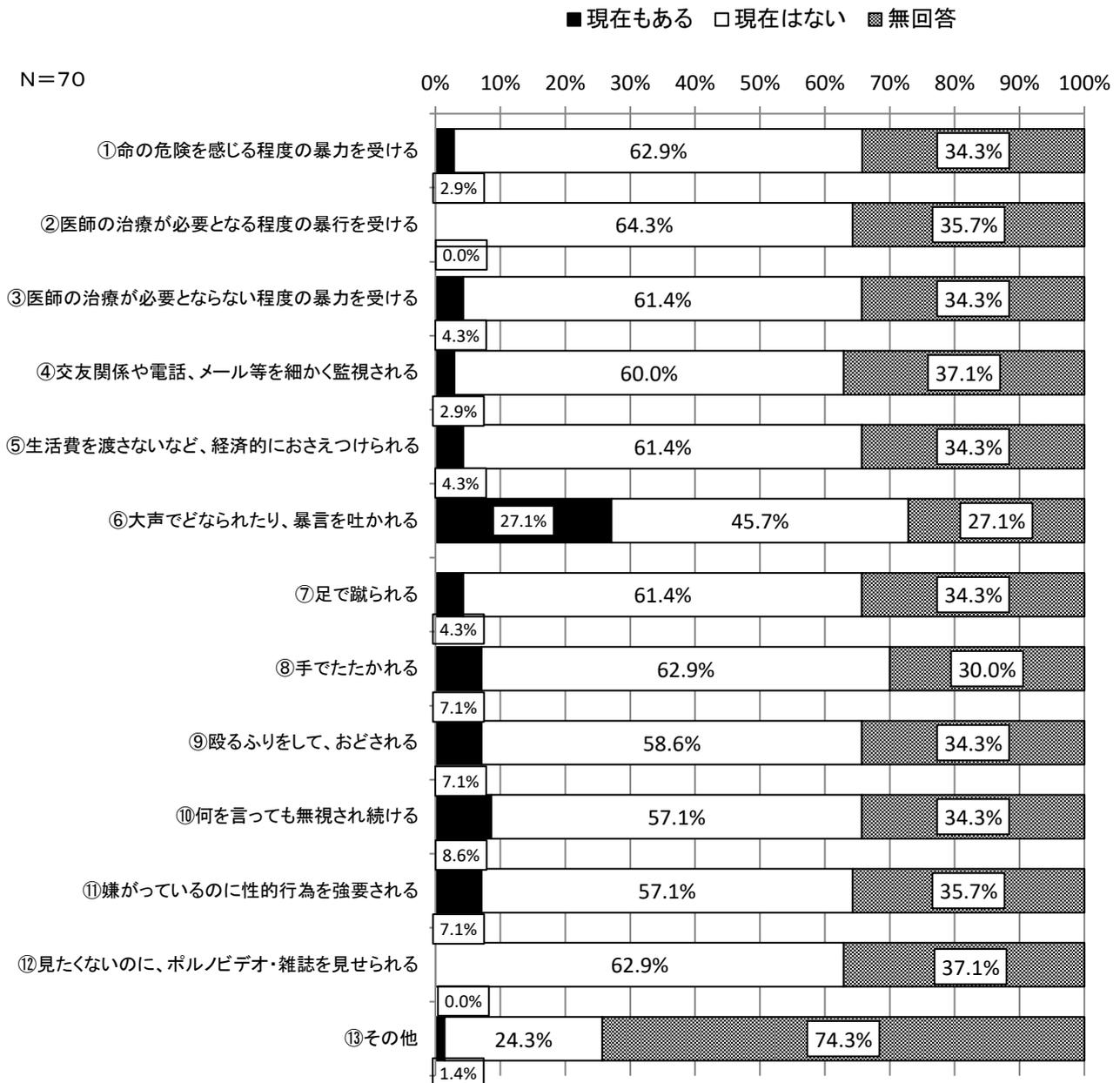


② 現在の状況

現在の状況については、「⑥大声でどなられたり、暴言を吐かれる」で“現在もある”の割合が最も高く、25.6%となっている。

前回調査結果と比較すると、「⑩何を言っても無視され続ける」の割合が高くなっている。

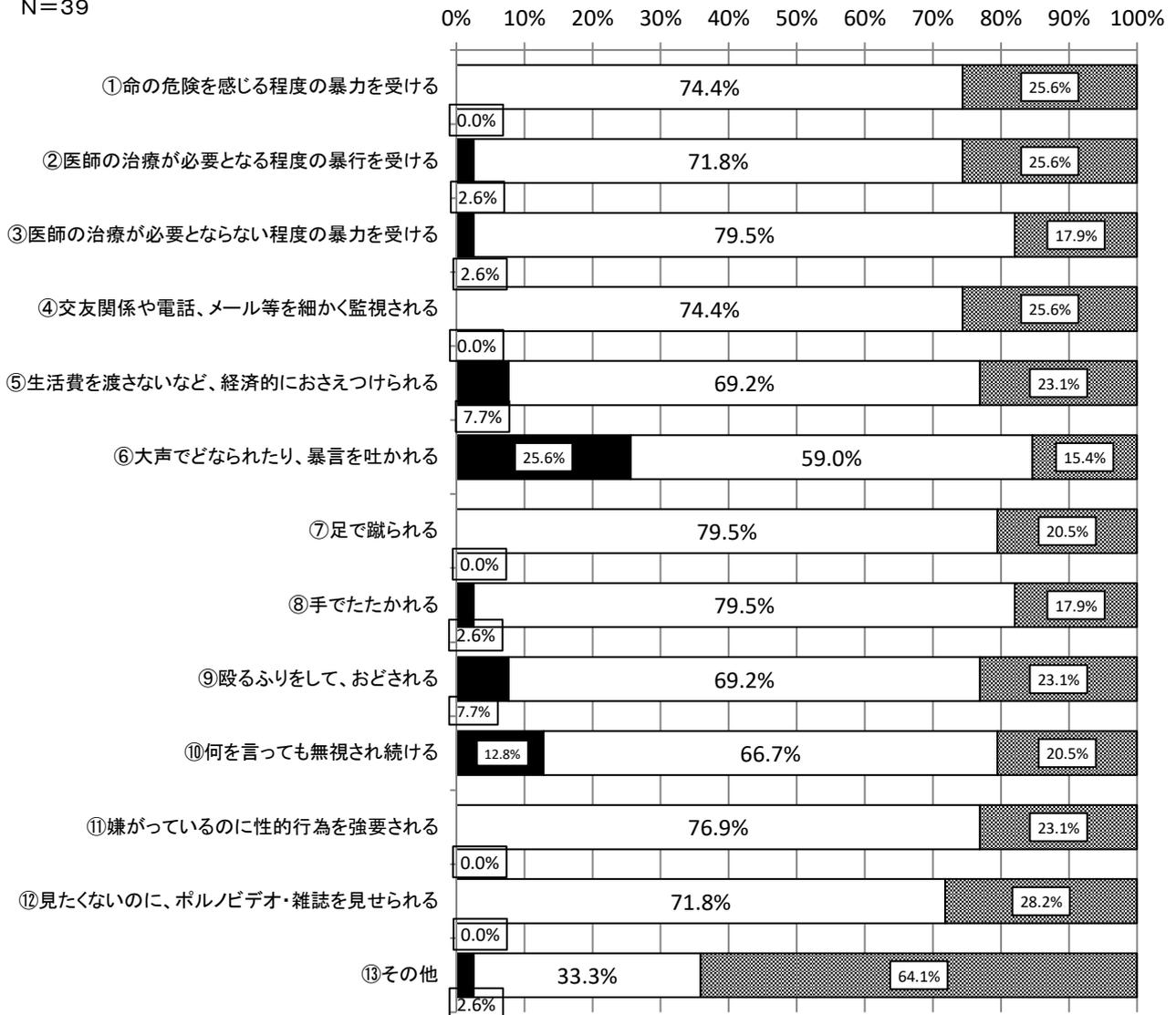
【平成23年度調査】



【平成28年度調査】

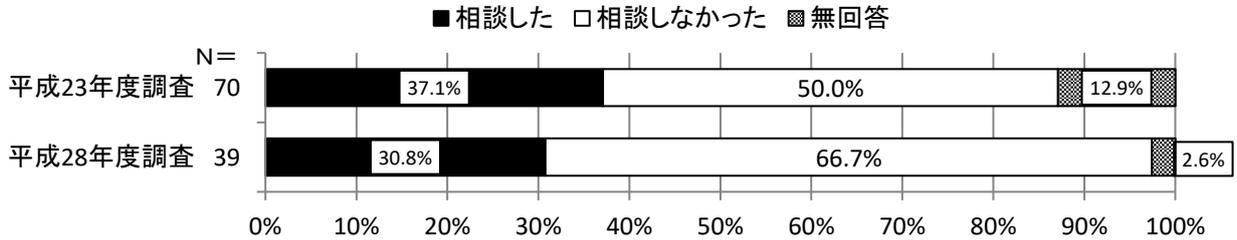
■ 現在もある □ 現在はない ▨ 無回答

N=39



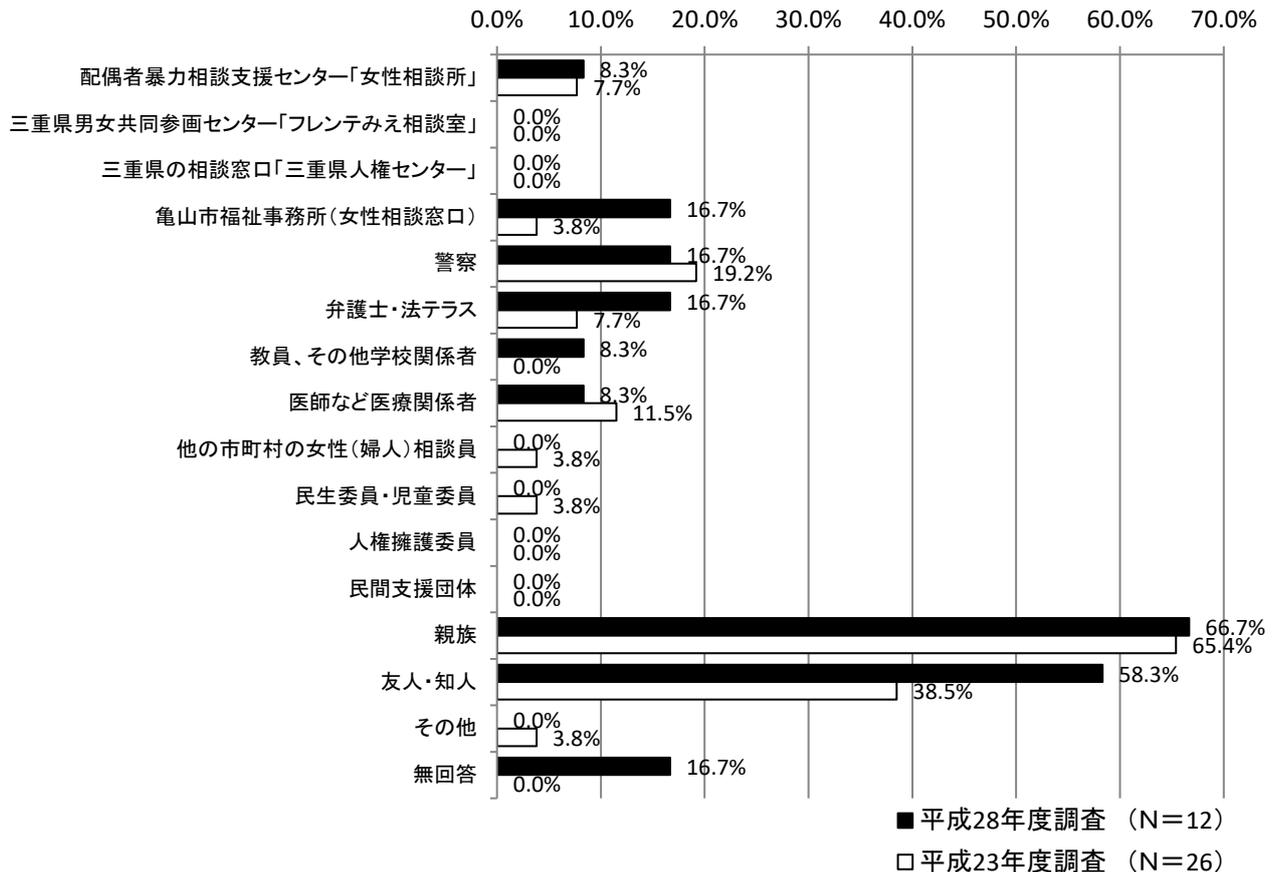
**問27-2. 問27で「1. ある」と答えた方にお聞きします。暴力を受けた時誰かに相談しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

「相談した」の割合が30.8%、「相談しなかった」の割合が66.7%となっている。  
 前回調査結果と比較すると、「相談しなかった」の割合が高くなっている。



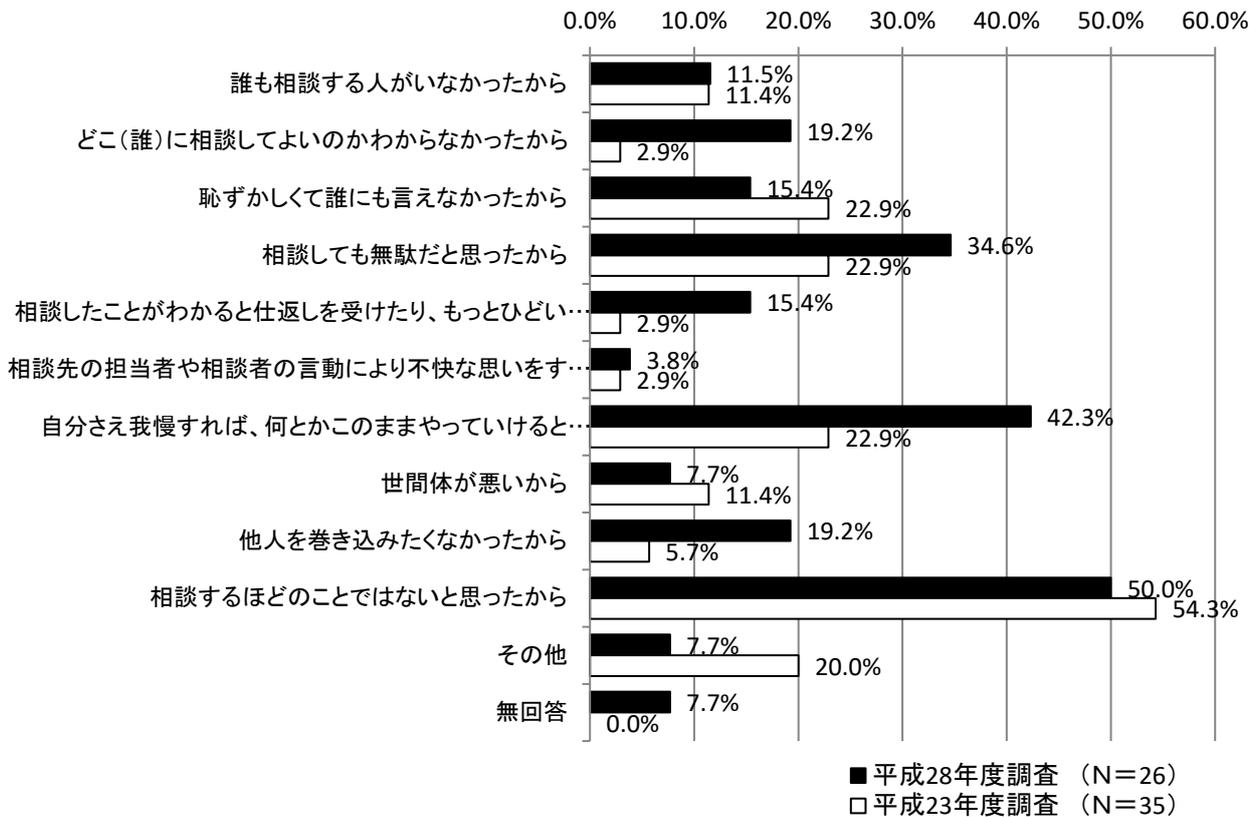
**問27-3. 問27-2で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。どのような所および人に相談しましたか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください**

「親族」の割合が66.7%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が58.3%、「亀山市福祉事務所(女性相談窓口)」「警察」「弁護士・法テラス」が16.7%となっている。



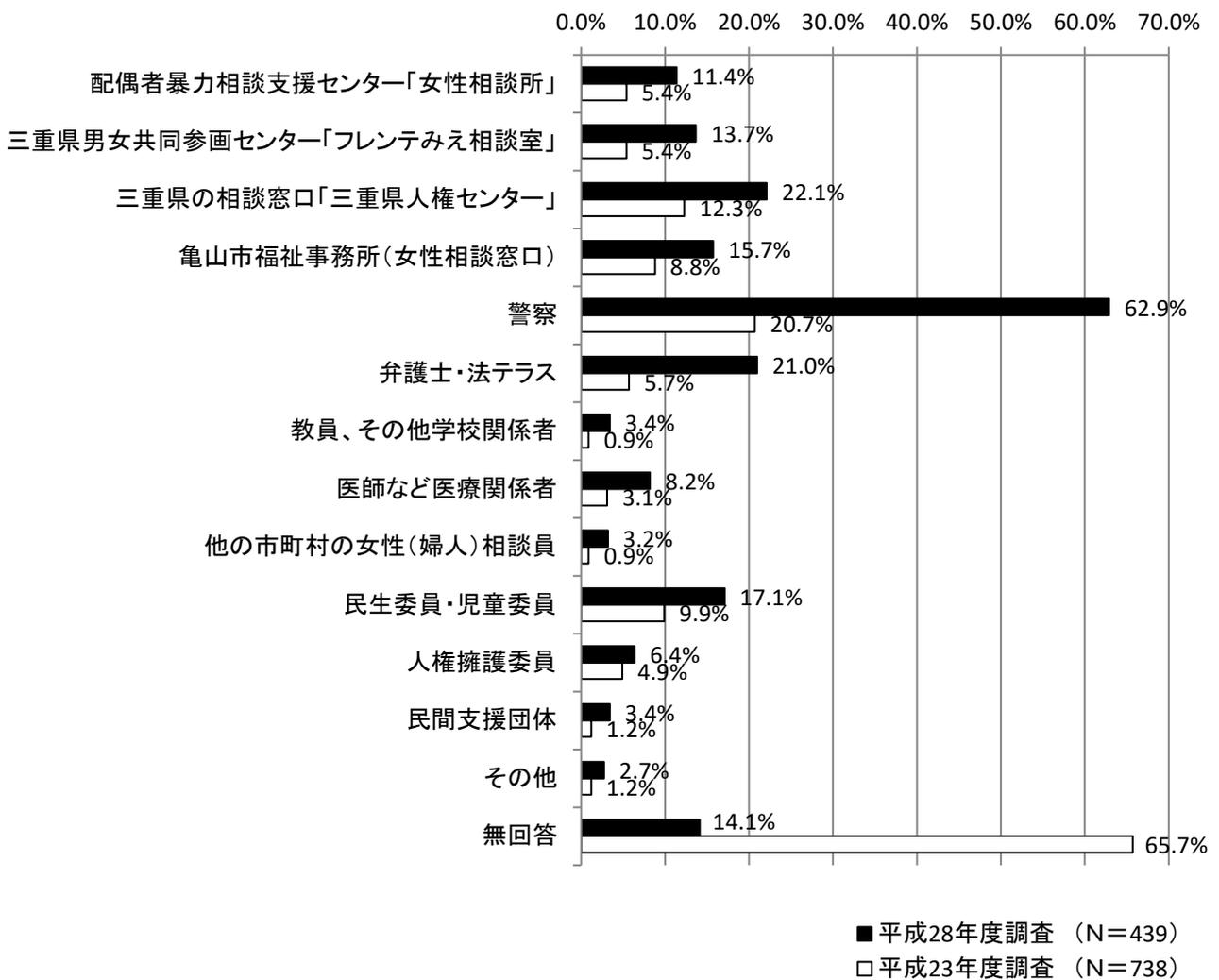
問27-4. 問27-2で「2. 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。どこ(誰)にも相談しなかったのはなぜですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が50.0%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」の割合が42.3%、「相談しても無駄だと思ったから」の割合が34.6%となっている。



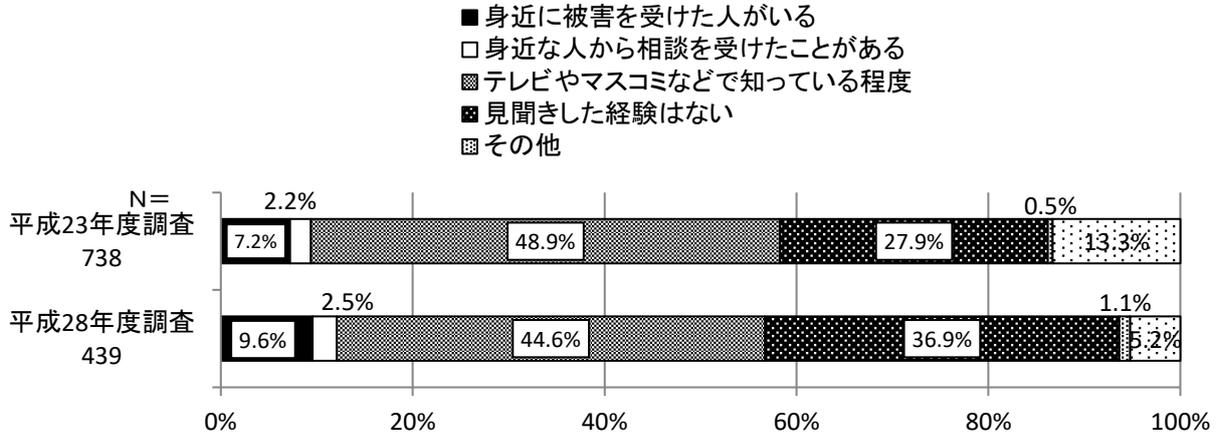
問28. 配偶者やパートナーから暴力を受けたときに相談できる機関や関係者などの窓口のなかで、そのような相談ができることを知っていたものについて、次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

「警察」の割合が62.9%と最も高く、次いで「三重県の相談窓口(三重県人権センター)」の割合が22.1%、「弁護士・法テラス」の割合が21.0%となっている。



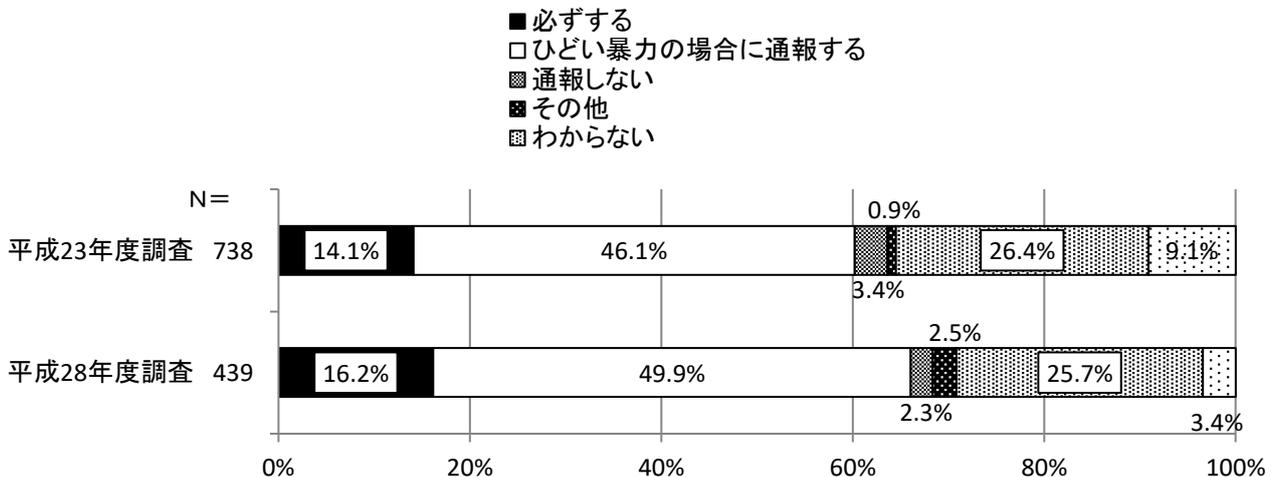
**問29. あなたは、配偶者や恋人等からの暴力を見聞きした経験がありますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

「テレビやマスコミなどで知っている程度」の割合が44.6%と最も高く、次いで「見聞きした経験はない」の割合が36.9%となっている。一方、「身近に被害を受けた人がある」の割合が9.6%となっている。



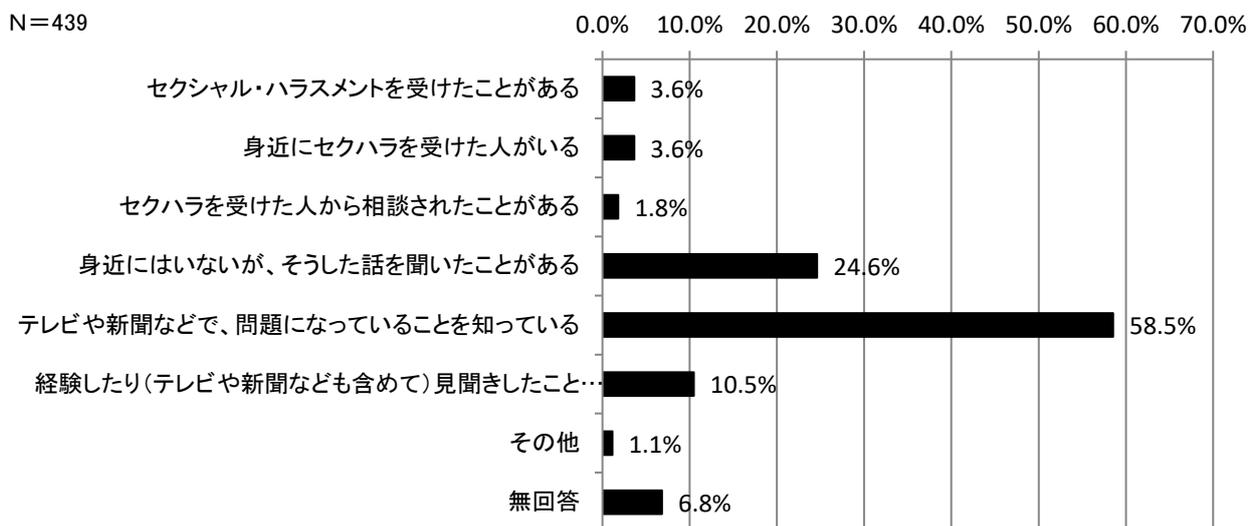
**問30. あなたは、暴力を受けている人を発見したとき、通報しますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

「ひどい暴力の場合に通報する」の割合が49.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が25.7%となっている。一方、「必ずする」の割合が16.2%となっている。



**問31. 最近5年間程度のうちで、セクシュアル・ハラスメント(セクハラ・性的嫌がらせ)について経験したり、見聞きしたことがあります。あてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。**

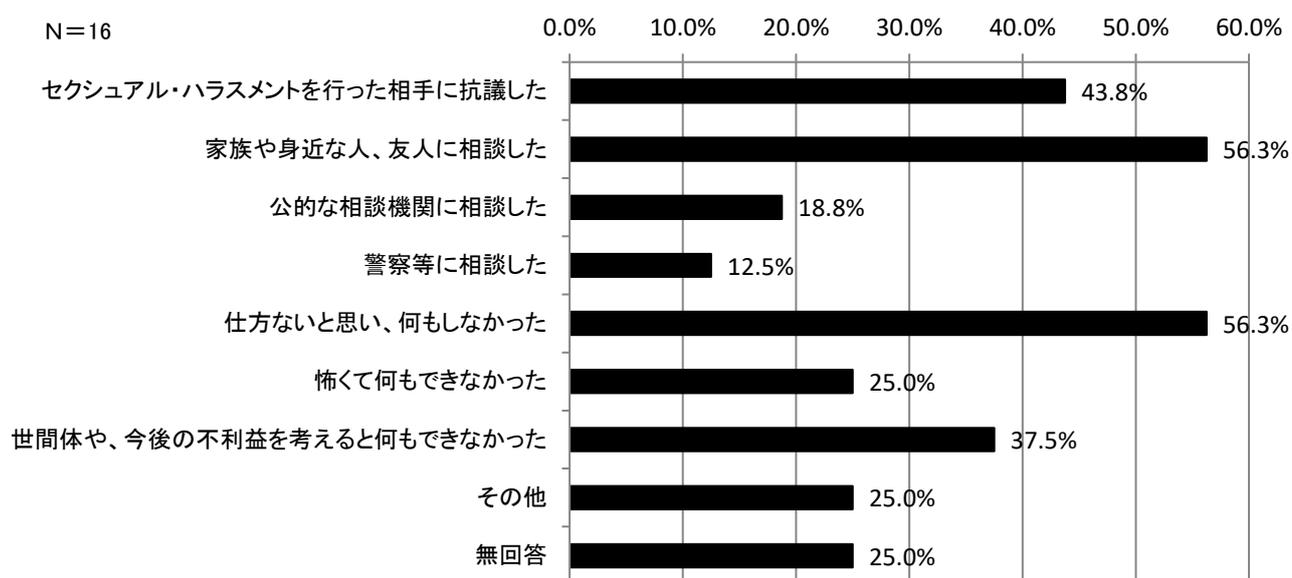
「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」の割合が58.5%と最も高く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」の割合が24.6%、「経験したり(テレビや新聞などを含めて)見聞きしたことはない」の割合が10.5%となっている。



※平成23年度調査には該当設問はありません。

問31-1. 問31で「1. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」と答えた方にお聞きします。あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。あてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

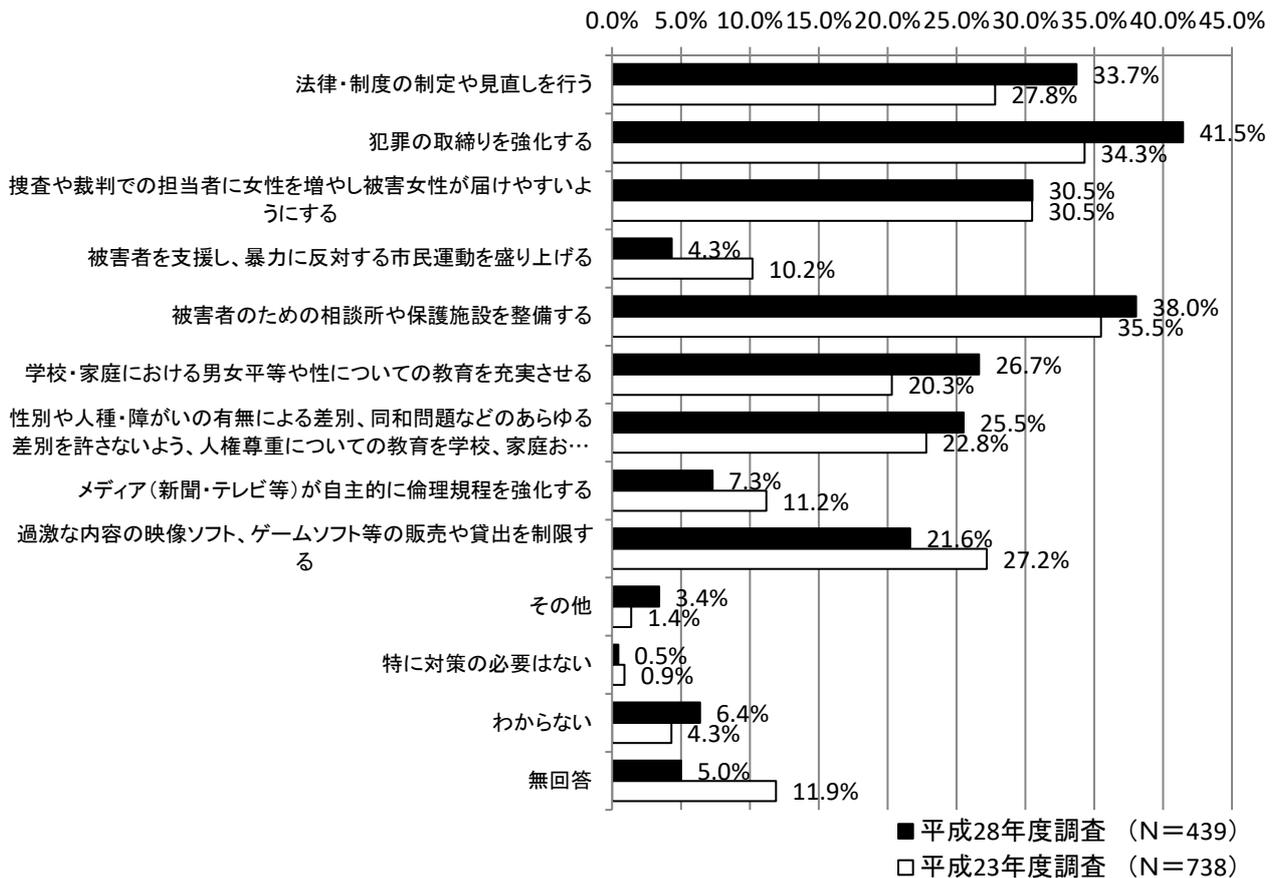
「家族や身近な人、友人に相談した」「仕方ないと思い、何もしなかった」の割合が56.3%と最も高く、次いで「セクシュアル・ハラスメントを行った相手に抗議した」の割合が43.8%となっている。



※平成23年度調査には該当設問はありません。

問32. 近年において、性犯罪や売買春(いわゆる「援助交際」を含む)、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

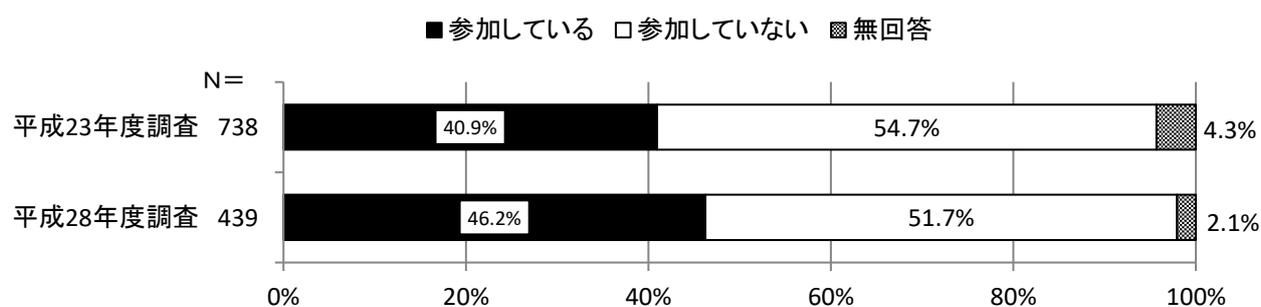
「犯罪の取締りを強化する」の割合が41.5%と最も高く、次いで「被害者のための相談所や保健施設を整備する」の割合が38.0%、「法律・制度の制定や見直しを行う」の割合が33.7%となっている。



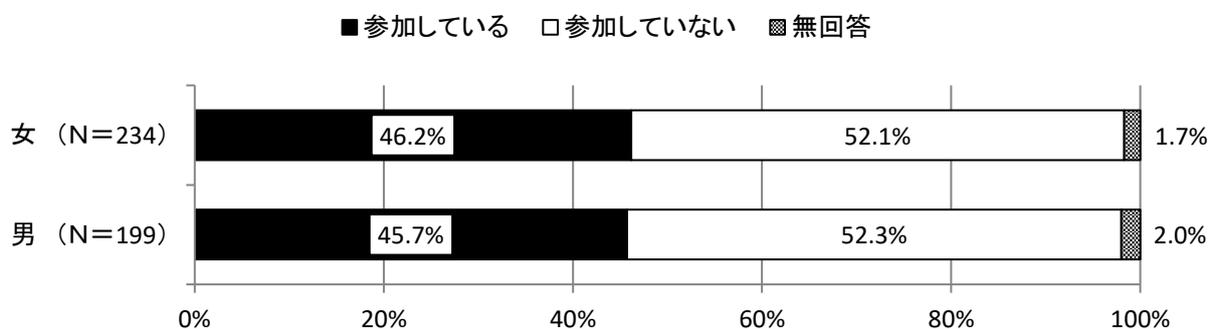
## (11) 社会活動について

問33. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「参加している」の割合が46.2%、「参加していない」の割合が51.7%となっている。

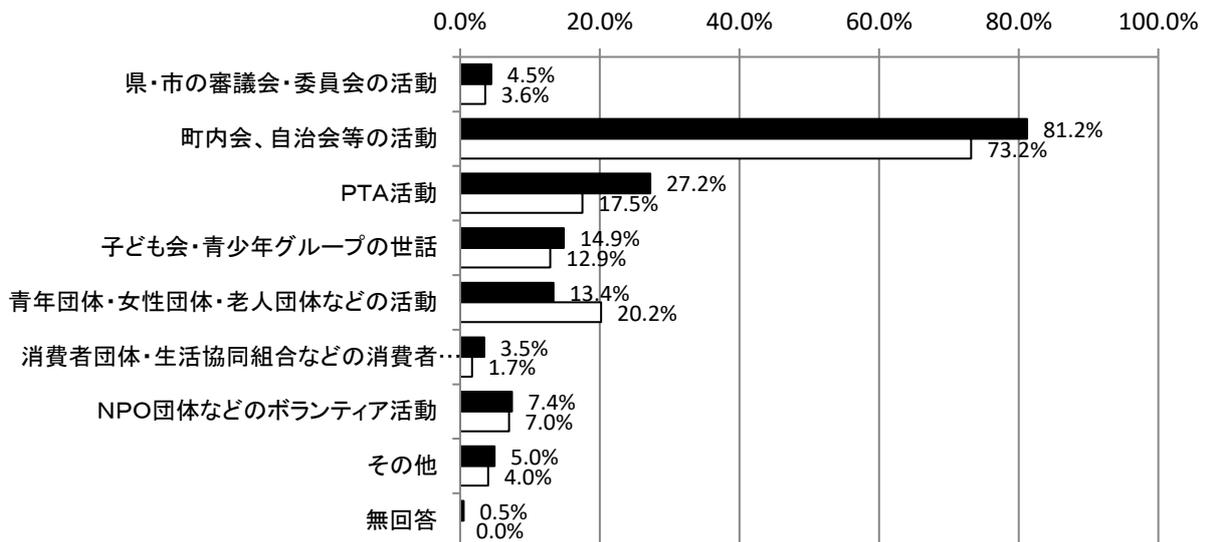


性別では、大きな差は見られない。



**問33-1. 問33で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。あなたが参加している社会活動はどのようなものですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。**

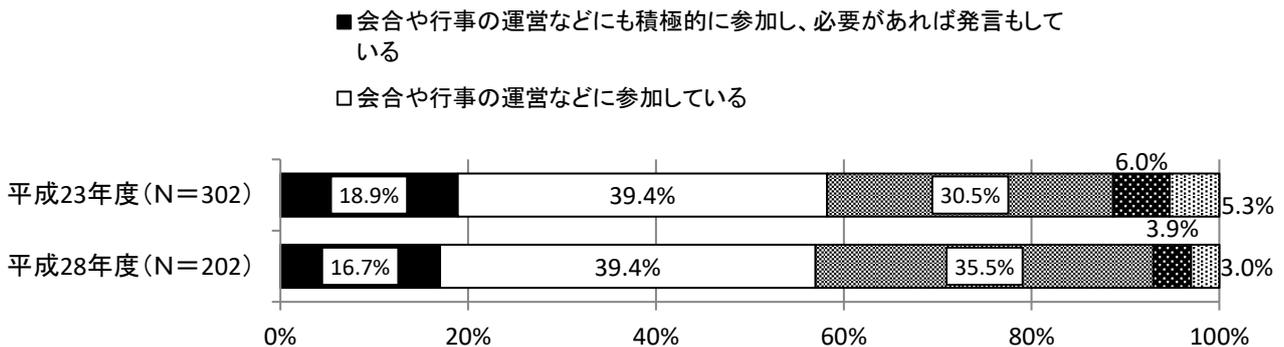
「町内会、自治体等の活動」81.2%と最も高く、次いで「PTA活動」の割合が27.2%、「子ども会・青少年グループの世話」の割合が14.9%となっている。  
 前回調査結果と比較すると、「青年団体・女性団体・老人団体などの活動」の割合が低くなっている。一方、その他の全ての項目で高くなっている。



■ 平成28年度調査 (N=202)

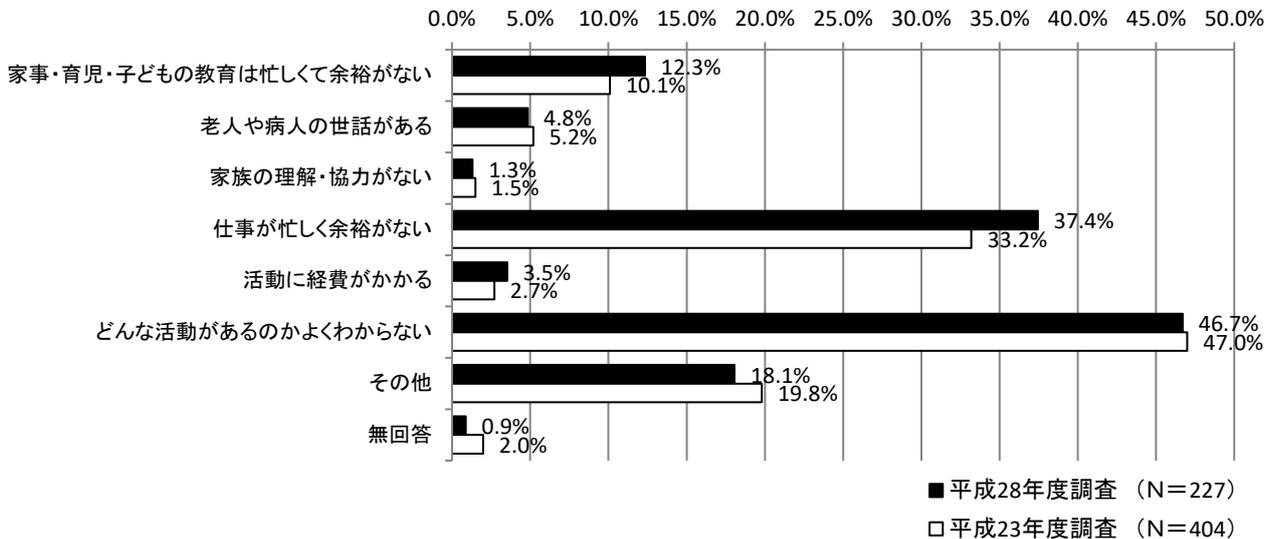
**問33-2. 問33で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。あなたはどのように社会活動に参画していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

「会合や行事の運営などに参加している」の割合が39.4%と最も高く、次いで「会合や行事の運営など中心的な役割以外で参加している」の割合が35.5%、「会合や行事の運営などにも積極的に参加し、必要があれば発言もしている」の割合が16.7%となっている。  
 前回調査結果と比較すると、大きな変化は見られない。



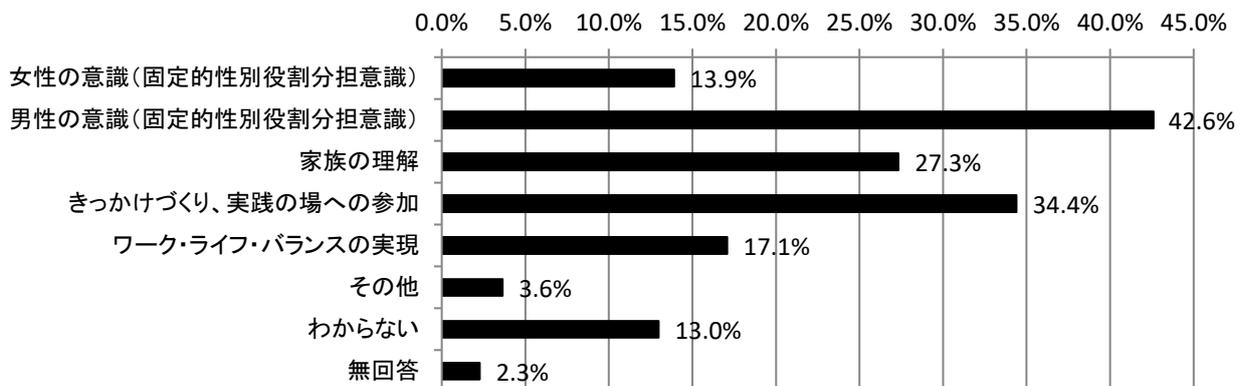
**問33-3. 問33で「1. 参加していない」と答えた方にお聞きします。社会活動に参加していない理由はなんですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。**

「どんな活動があるのかよくわからない」の割合が46.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しく余裕がない」の割合が37.4%、「家事・育児・子どもの教育は忙しくて余裕がない」の割合が12.3%となっている。



**問34. 亀山市の全236自治会の中で、女性の自治会長の割合は5%未満と低いのが現状ですが、あなたの自治体や地域団体など、地域社会において女性が活躍していくために必要なことは何だと思えますか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。**

「男性の意識(固定的性別役割分担意識)」の割合が42.6%と最も高く、次いで「きっかけづくり、実践の場への参加」の割合が34.4%、「家族の理解」の割合が27.3%となっている。

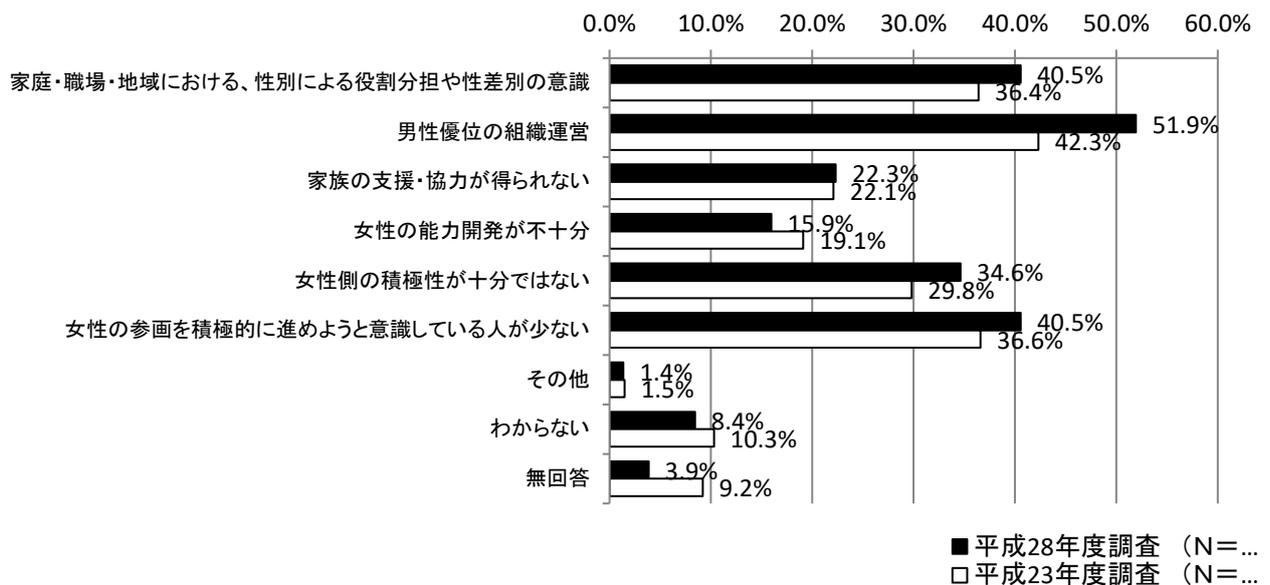


※平成23年度調査には該当設問はありません。

## (12) 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

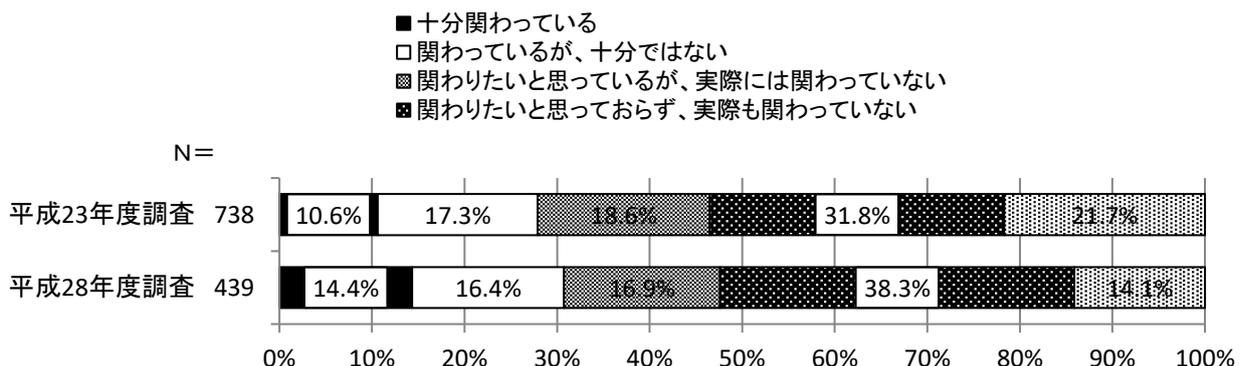
問35. 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

「男性優位の組織運営」の割合が51.9%と最も高く、次いで「家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識」「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」の割合が40.5%となっている。



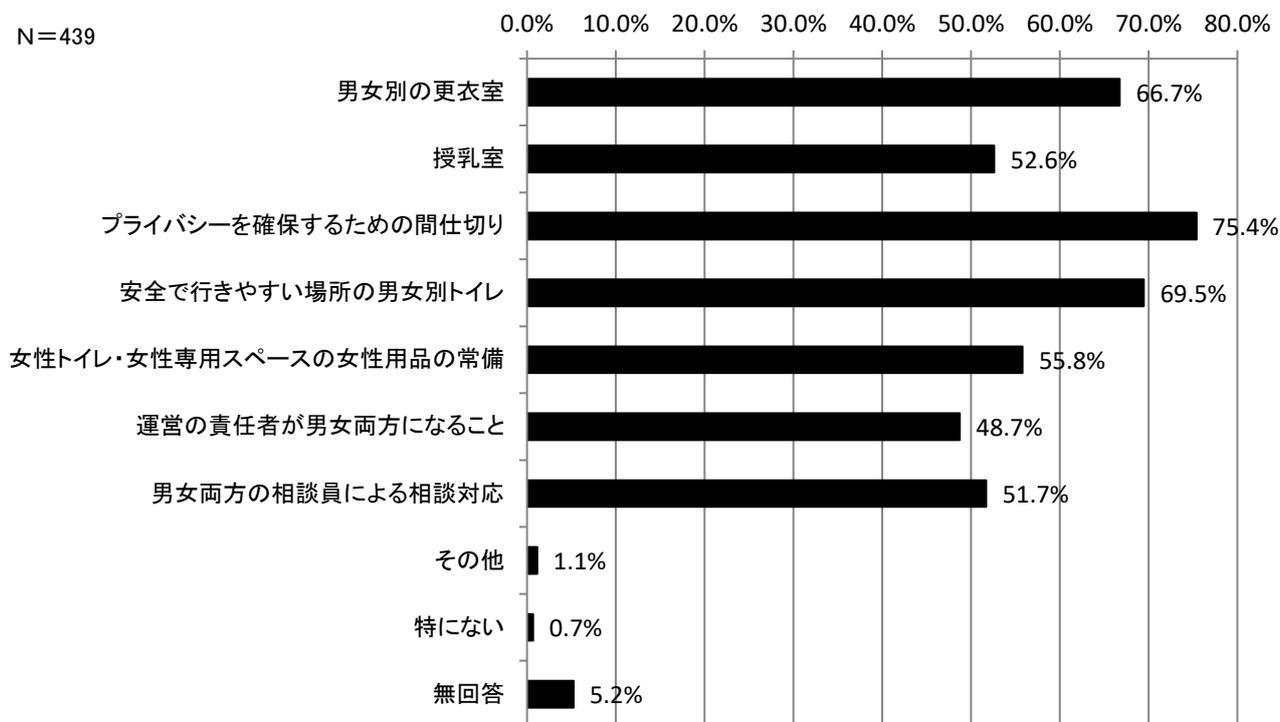
問36. あなたは職業などの組織における重要な方針の決定過程に関わっていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「関わりたいと思っておらず、実際も関わっていない」の割合が38.3%と最も高く、次いで「関わりたいと思っているが、実際には関わっていない」の割合が16.9%、「関わっているが、十分ではない」の割合が16.4%となっている。



**問37. 災害時の避難所運営における男女共同参画についてお聞きします。あなたは、自然災害が起きたときに、避難所にはどのようなことが必要だと考えますか。あてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。**

「プライバシーを確保するための間仕切り」の割合が75.4%と最も高く、次いで「安全で行きやす場所の男女別トイレ」の割合が69.5%、「男女別の更衣室」の割合が66.7%となっている。



※平成23年度調査には該当設問はありません。

**問38. 男女共同参画社会を実現するために、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。**

「保育・介護の施設やサービスを充実する」の割合が43.3%と最も高く、次いで「女性を政策決定の場に積極的に登用する」の割合が29.8%、「男女共同参画社会をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う」27.6%となっている。

